
BMS12C-J

取扱説明書



b-mobile

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお取り扱いください。
また、お読みになった後も必要なときすぐに見られるよう、大切に保管してください。

 **日本通信株式会社**
Japan Communications Inc.

(製造元)セイコーインスツル株式会社

目次

はじめに.....	3
おことわり.....	4
安全上のご注意.....	5
お取り扱い上のご注意.....	7
本通信カードでの通信状態に関する注意.....	7
自動再発信の制限について.....	7
その他ご使用にあたってのご注意.....	8
お使いになる前に.....	9
1. 同梱物の確認.....	9
2. 製品概要.....	10
3. 通信方式.....	11
4. 各部の名称とはたらき.....	12
セットアップ～インターネット接続.....	14
1. セットアップをはじめる前に.....	15
2. セットアップ～インターネット接続までの流れ.....	16
Windows Mobile 2003 / 2003SE の場合.....	17
■通信カードをセットアップする.....	17
■接続先電話番号・接続に関する設定をする.....	18
■インターネットに接続する.....	23
Pocket PC 2002 の場合.....	25
■通信カードをセットアップする.....	25
■接続先電話番号・接続に関する各種設定をする.....	26
■インターネットに接続する.....	32
Windows XPの場合.....	34
■通信カードをセットアップする.....	34
■接続先電話番号・接続に関する各種設定をする.....	38
■インターネットに接続する.....	42
■CD-ROMドライブがPCカード接続タイプで本通信カードと同時に接続できない場合.....	43
Windows Meの場合.....	46
■通信カードをセットアップする.....	46
■接続先電話番号・接続に関する各種設定をする.....	49
■インターネットに接続する.....	54
■CD-ROMドライブがPCカード接続タイプで本通信カードと同時に装着できない場合.....	55
Windows 2000 の場合.....	58
■通信カードをセットアップする.....	58
■接続先電話番号・接続に関する各種設定をする.....	64
■インターネットに接続する.....	69
■CD-ROMドライブがPCカード接続タイプで、本通信カードと同時に装着できない場合.....	70

Windows 98 / 98SEの場合	75
■通信カードをセットアップする	75
■接続先電話番号・接続に関する各種設定をする.....	79
■インターネットに接続する.....	84
■CD-ROMドライブがPCカード接続タイプで本通信カードと同時に装着できない場合	85
Mac OS 8.5～9.2.2 の場合	88
■通信カードをセットアップする	88
■接続先電話番号・接続に関する各種設定をする.....	90
■インターネットに接続する.....	92
Mac OS Xの場合	93
■通信カードをセットアップする	93
■接続先電話番号・接続に関する各種設定をする.....	95
■インターネットに接続する.....	97
困ったときに	98
本通信カードが動作しない場合の確認手順	99
■Windows Mobile 2003 / 2003SE・Pocket PC 2002 の場合	99
■Windows XPの場合	100
■Windows 98 / 98SE / Meの場合	103
■Windows 2000 の場合	106
■Mac OS 8.5～9.2.2 の場合	108
■Mac OS Xの場合	110
確認してください.....	112
ヘルプデスク.....	114
付 録.....	115
コマンドについて	116
■ハイパーターミナルの起動手順.....	116
■ATコマンドを使った通信方式の設定について	118
発着信の動作制限について	119
通信カードに関する電話番号の確認方法	120
用語集.....	121
仕 様.....	123

はじめに

このたびは、本商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、商品に同梱の通信カード BMS12C-J(以下、本通信カードと呼びます)の取扱説明書で、本通信カードをお使いのコンピュータで使用できるようにするまでのセットアップ方法を、使用環境別に説明しています。

本通信カードが使用できる環境は次のとおりです。

Compact Flash TypeI もしくは、TypeII または、PC カード TypeII (PC カードアダプタ使用時)のスロットを持つコンピュータで以下の OS を搭載したもの

※すべて日本語版のみ対応

・Windows 98 / 98SE / Me / 2000 / XP

・Windows Mobile 2003 / 2003SE / Pocket PC 2002

・Mac OS 8.5 / 8.5.1 / 8.6 / 9.0 / 9.0.4 / 9.1 / 9.2.1 / 9.2.2 / 10.1.5 / 10.2 / 10.2.1 / 10.2.2 / 10.2.3 / 10.2.4 / 10.2.5 / 10.2.6 / 10.2.7 / 10.2.8 / 10.3 / 10.3.1 / 10.3.2 / 10.3.3 / 10.3.4 / 10.3.5 / 10.3.6 / 10.3.7 / 10.3.8 / 10.3.9 / 10.4 / 10.4.1

※詳細はホームページ等でご確認ください。

最新の動作確認機種・技術情報は当社ホームページにてご案内しています。

URL <http://www.bmobile.ne.jp/personal/taiou/taiou.html>

上記に該当する場合でも、コンピュータ本体・接続されている周辺機器、使用するアプリケーションなどのご利用環境によって正常に動作しない場合があります。

また、初めてデータ通信やインターネットを利用する方のために、専門用語の解説を付録に簡単に説明してありますので、ご一読ください。

ご使用の前に、必ず安全上のご注意をよくお読みの上、安全に正しくお取り扱いください。また本書は、お読みになった後も、必要なときにすぐ見られるよう、大切に保管しておいてください。

おことわり

無断転載を禁じます。

本書の内容は、断りなく変更することがあります。

本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害およびその回復に要する費用に対し、当社は一切の責任を負いません。

本装置を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理するようお願いいたします。

詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

Hayes（ヘイズ）は米国 Hayes Micro Computer Products, Inc. の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Mobile は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。

Macintosh、Mac、Mac OS は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。

b-mobile、bモバイルは、日本通信株式会社の登録商標です。

その他、商品名および製品名などは、一般に各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

本書では、本通信カードを安全に正しくお使いいただくため、また機器の損傷を防ぐため、次の記号を使って注意事項を喚起しています。

これらの記号表示の意味は次のとおりです。内容をよく理解して、これらの記号が表示されているところの記載事項については、必ずお守りください。

<絵表示の例>

 警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
左の表示例は「警告または注意事項」があることを表しています。



 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
左の表示例は「分解禁止」を表しています。



 記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。
左の表示例は「電源プラグをコンセントから抜く」ことを表しています。

警告

	車両を運転中に本通信カードを使用しないでください。交通事故の原因となります。
	航空機の機内や病院など、使用を禁止されている場所や満員電車等の混雑した場所では本通信カードを使用しないでください。電波障害により、電子機器や医療機器、心臓ペースメーカー等に影響を及ぼす恐れがあり、事故の原因となります。
	本通信カードを分解、改造しないでください。火災、感電および故障の原因となります。

注意

	小さなお子さまのいるご家庭で本通信カードをご使用になる場合は、お子さまが本通信カードで遊ばないようにご注意ください。コンピュータや本通信カードが落下してけがをする恐れがあります。										
	水や薬品のかかる可能性のある場所で本通信カードを使用したり、放置したりしないでください。発熱や感電の原因となります。										
	アンテナに無理な力を加えないでください。 故障の原因となります。本通信カードを取り外すときは、アンテナを持たずにイジェクトレバーを使用し、カード部分を持って抜いてください。										
	本通信カードをお使いにならないときは、アンテナをたたみ、コンピュータから取り外してください。										
	誤って本通信カードのアンテナ部を飲み込んでしまった場合や本通信カードをご使用中にかゆみ、かぶれ等の症状を感じましたら、すぐに使用を中止し、必ず専門の医師に相談してください。										
	本通信カードには、以下に記載の材料の使用や、表面処理を施しております。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">使用場所</th> <th>使用材料・表面処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">アンテナ</td> <td>カバー部</td> <td>ポリエステル系エラストマー樹脂</td> </tr> <tr> <td>ヒンジ部</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> </tr> <tr> <td>金属部</td> <td>銅／ニッケルメッキ</td> </tr> </tbody> </table>	使用場所		使用材料・表面処理	アンテナ	カバー部	ポリエステル系エラストマー樹脂	ヒンジ部	ポリカーボネート樹脂	金属部	銅／ニッケルメッキ
	使用場所		使用材料・表面処理								
アンテナ	カバー部	ポリエステル系エラストマー樹脂									
	ヒンジ部	ポリカーボネート樹脂									
	金属部	銅／ニッケルメッキ									

お取り扱い上のご注意

- 本通信カードを次のような場所で使用したり、放置しないでください。

- － 極度に高温や低温の場所
- － 湿気が多い場所や水などの液体がかかる場所
- － 直射日光の当たる場所
- － ほこりの多い場所
- － 薬品や有害なガスに触れる可能性のある場所

万一、本通信カードから異常な発熱や発煙、異臭が生じた場合は、ただちに本通信カードをご使用のコンピュータから抜き取ってください。お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。

- 本通信カードを落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 本通信カードを曲げたり、無理な力を加えないでください。
- 本通信カードをコンピュータのスロットに差し込んだまま長期間保存しないでください。
- 本通信カードを取り出す際、アンテナを持たずに通信カード本体を持って抜いてください。また、コンピュータにイジェクトレバーがある場合には、レバーを使用して、取りはずしてください。
- 本通信カードがコンピュータのスロットにスムーズに挿入できなかったり、挿入時に違和感を感じる場合は、無理に挿入せず通信カードおよびスロットの点検を行ってください。
- 火中への投入はおやめください。
- 正しい方向に挿入してください。

本通信カードでの通信状態に関する注意

本通信カードは、CFカード部のアンテナランプが消灯および赤色点灯の時は使用できません（意図的に設定を行った場合を除く）。本通信カードのアンテナランプが点滅している場合、通信が不安定となる恐れがあります。アンテナランプが安定して点灯している状態で通信を行ってください。ただし、アンテナランプが安定して点灯している場合でも、回線が混んでいて通信ができない場合があります。この場合、しばらくしてからもう一度発信し直してください。☞詳細は [13 ページ](#)を参照してください。

自動再発信の制限について

本通信カードでは、接続先が話中であった場合の再発信動作（リダイヤル）は3分中2回までとなっています。

このため、同一の電話番号に繰り返し発信を行うことができません。この場合は、3分程度待つてから再発信（リダイヤル）してください。

その他ご使用にあたってのご注意

- コンピュータや PDA の電池が不足した状態では、動作が不安定になります。電池の残量をよく確認の上、お使いください。
- テレビやラジオのそばで本通信カードを使用すると、画面が乱れたり雑音が入ったりする場合があります。この場合、テレビやラジオから離してお使いください。
- 誤って操作をしたときは、コンピュータの電源を一度切り、電源を入れ直してください。

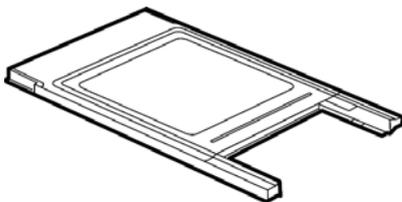
お使いになる前に

1. 同梱物の確認

お買い上げいただいたパッケージの中には、次のカード類が入っていますので、お使いになる前に確認してください。万一、不足しているものがあつた場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



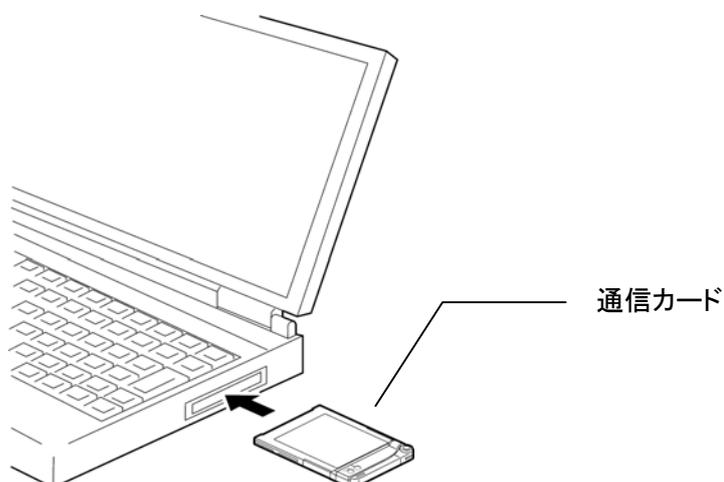
- 本体(1個)
コンピュータや PDA の CF カードスロットに差し込んで
使用します。



- PC カードアダプタ(1個)
PC カードスロット用のアダプタです。
本体を差し込んで使用します。

2. 製品概要

本通信カードは通信機能とデータ通信アダプタの機能が一体になった通信カードです。



本通信カードをコンピュータの CF カードスロットに装着してデータ通信を行います。
また、同梱の PC カードアダプタを使えば、PC カードスロットに装着することができます。
ワイヤレスで通信を行いますので、わずらわしいケーブル配線の必要がなく、またコンピュータと一緒に持ち歩いて外出先でインターネット接続やメールの送受信等を行うことができます。

3. 通信方式

本通信カードは、下記の通信方式でデータ通信を行うことができます。

アクセスポイント(データ通信方式)

32kパケット方式	⇒	32kbps パケット方式アクセスポイント
128kパケット方式	⇒	128kbps パケット方式アクセスポイント

 **注意** 使用可能な通信方式については、ヘルプデスクに確認してください。

アクセスポイントの種類に合わせた通信方式の設定を行うには、「アクセスポイント(接続先電話番号)」に続けて「##番号」を入力します。

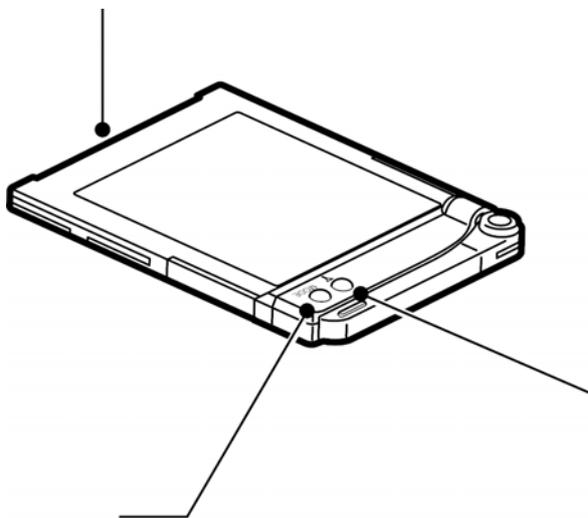
アクセスポイント(接続先電話番号) 接続先電話番号に続けて

32kパケット方式	▶	##61
128kパケット方式	▶	##64

4. 各部の名称とはたらき

CF コネクタ

CF カードスロットとの接続部です。



アンテナランプ

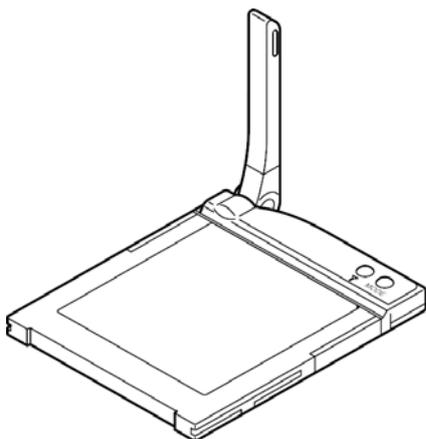
電波の強さを表示します。

MODE ランプ

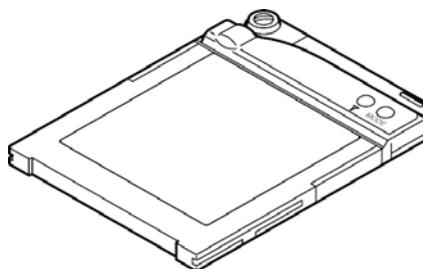
通信時に点灯します。

【アンテナについて】

■通信するときは

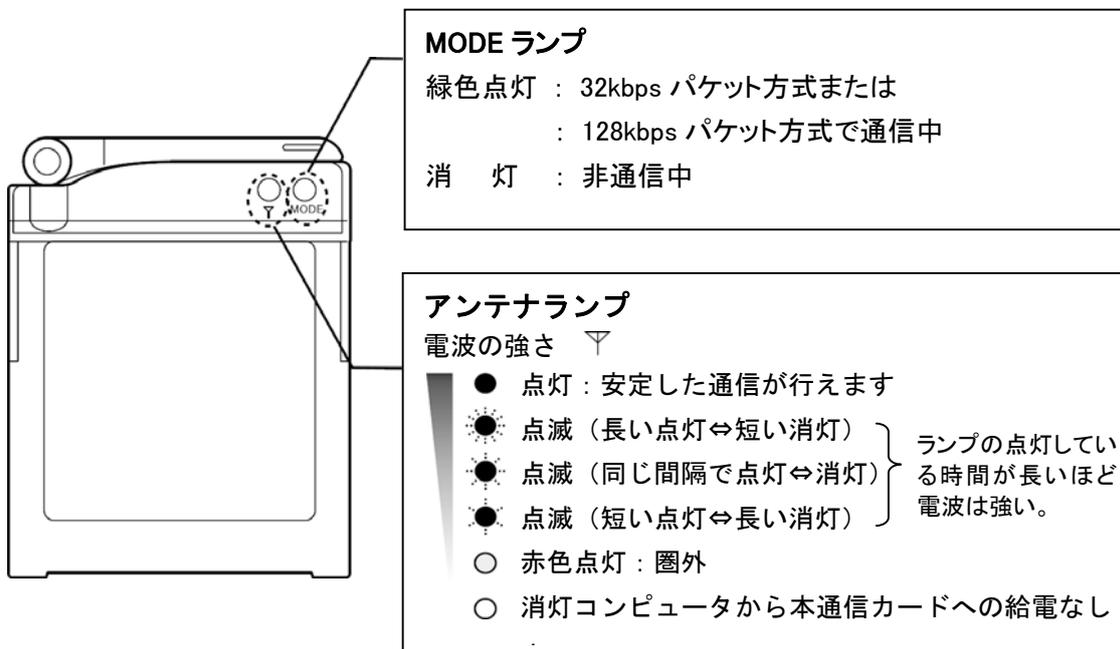


■持ち運ぶときは



- お願い ●アンテナに無理な力を加えないでください。故障の原因となります。
●アンテナを持って抜かないでください。

【ランプについて】



* お使いのコンピュータによっては、本通信カードを装着しただけでアンテナランプが点灯する場合があります。

セットアップ～インターネット接続

セットアップをはじめる前に
セットアップ～インターネット接続までの流れ
Windows Mobile 2003 / 2003SE の場合
Pocket PC 2002 の場合
Windows XP の場合
Windows Me の場合
Windows 2000 の場合
Windows 98 / 98SE の場合
Mac OS 8.5～9.2.2 の場合
Mac OS X の場合

1. セットアップをはじめる前に

必ず以下の内容を確認してください。

- ① 本商品の接続先電話番号／接続に関する各種設定情報を確認します。
 - アクセスポイント(接続先電話番号)
 - アクセスポイントの通信方式
⇒(例)32kbps パケット、128kbps パケット
 - ユーザー名(ユーザーID または接続 ID)、パスワード

- ② お使いのコンピュータの OS 名 (Windows ○○、Mac OS ○○など)を確認します。

上記 2 点が確認できたらセットアップの手順に進んでください。

重要

本通信カードでは、「アクセスポイント(接続先電話番号)」の種類(通信方式)に合わせて設定を行わないと通信ができません。

「アクセスポイント(接続先電話番号)」に続けて「##番号」を入力してください。

アクセスポイント(接続先電話番号) 接続先電話番号に続けて

32kパケット方式	▶ ##61
128kパケット方式	▶ ##64

接続先電話番号が 0570-570-130 でアクセスポイントの通信方式が128kbpsパケット方式の場合
(例)接続先電話番号入力欄

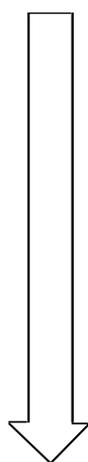
0570570130##64

※ 接続先電話番号は、商品に同梱のシートに記載の「アクセスポイント(接続先電話番号)」を入力してください。弊社指定のアクセスポイント以外は接続できません。

2. セットアップ～インターネット接続までの流れ

本通信カードを使ってインターネットに接続するまでのおおまかな手順を説明します。

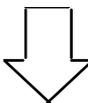
- ① 本通信カードをコンピュータにセットアップする。



⇒ 各 OS ごとに手順が異なります。

Windows Mobile 2003 / 2003SE	 17 ページ
Pocket PC 2002	 25 ページ
Windows XP	 34 ページ
Windows Me	 46 ページ
Windows 2000	 58 ページ
Windows 98 / 98SE	 75 ページ
Mac OS 8.5～9.2.2	 88 ページ
Mac OS X	 93 ページ

- ② 接続先電話番号・接続に関する設定をする。



- ③ インターネットに接続する。

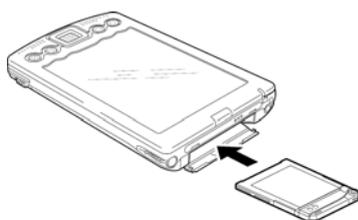
Windows Mobile 2003 / 2003SE の場合

■通信カードをセットアップする

1. PDA の電源を ON にします。
2. PDA の CF カードスロットまたは PC カードスロットに本通信カードを差し込みます。

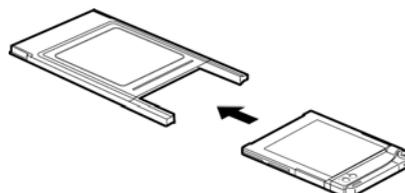
CF カードスロットに差し込む

本通信カードをカードスロットの挿入方向に注意して、奥までしっかり差し込んでください。

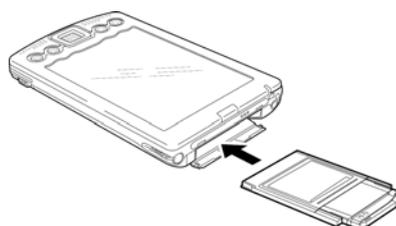


PC カードスロットに差し込む

- ① 通信カード本体のラベル面と PC カードアダプタのラベル面をそろえて、PC カードアダプタのガイド溝に合わせ、奥までしっかり差し込んでください。



- ② 通信カード本体をセットした PC カードアダプタを PC カードスロットの挿入方向に注意しながら奥までしっかり差し込んでください。



■接続先電話番号・接続に関する設定をする

インターネットに接続するためには、本商品に同梱の情報などを設定する必要があります。ここでは、以下のものが必要となります。

- アクセスポイント(接続先電話番号)
- ユーザー名(ユーザーID または接続 ID)、パスワード

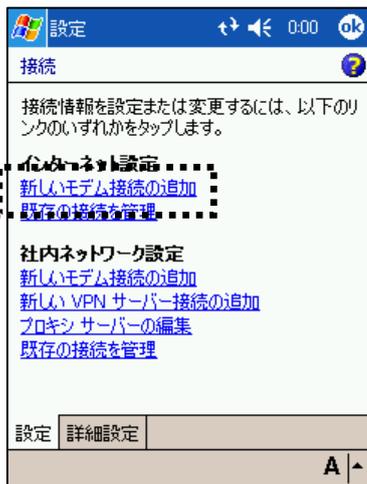
1. 画面上の「スタート」から「設定」を選び、「接続」タブをタップします。



2. 「接続」アイコンをタップします。



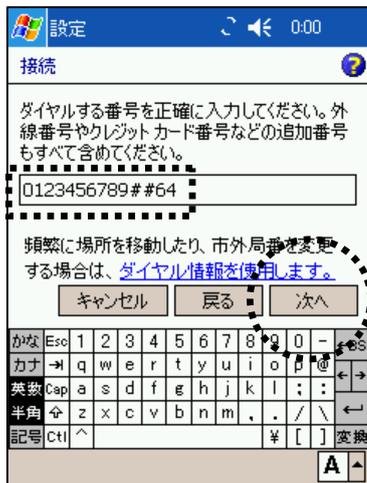
3. 「新しいモデム接続の追加」をタップします。



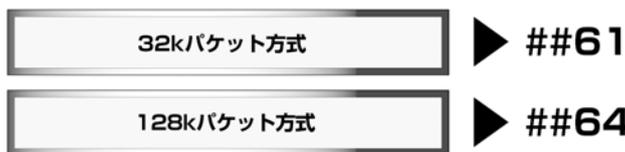
4. 「接続名」として通信方式や適切な名前など(例:接続)を入力し、「モデムの選択」で「SII-PHS_BMS12C-J」を選び、「次へ」をタップします。



5. 「ダイヤルする番号を正確に入力してください…」の下のボックスに、本商品に同梱のシートに記載の「アクセスポイント(接続先電話番号)」と「##番号」を入力し、「次へ」をタップします。



アクセスポイント(接続先電話番号) 接続先電話番号に続けて

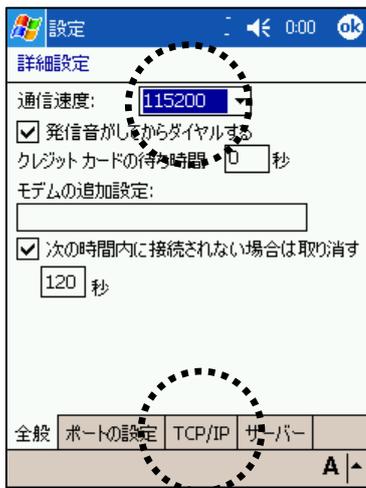


※ 接続先電話番号はお客様がご利用の商品によって異なります。
(上記画面の「0123456789##64」は入力例です。)

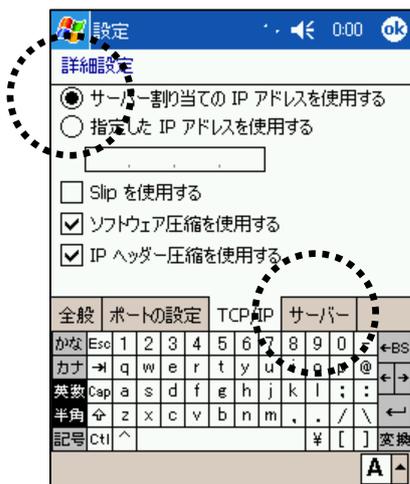
6. 本商品に同梱のシートに記載の「ユーザー名」、「パスワード」を入力し「詳細設定」をタップします。



7. 通信速度は「115200」を選び、「TCP/IP」タブをタップします。



8. 「サーバー割り当ての IP アドレスを使用する」を選んでください。入力を完了したら[サーバー]タブをタップします。



9. 「サーバー割り当てのネームサーバーアドレス」を選択し、右上の「OK」をタップします。



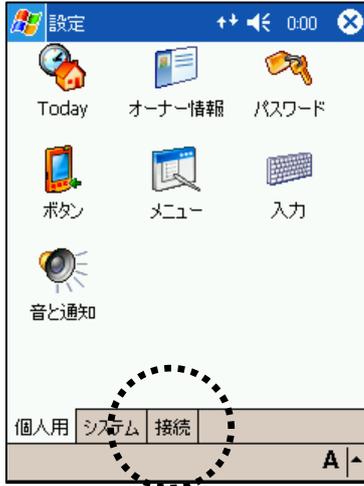
10. 「設定」画面に戻りますので、「完了」をタップします。



以上で設定は完了です。

■インターネットに接続する

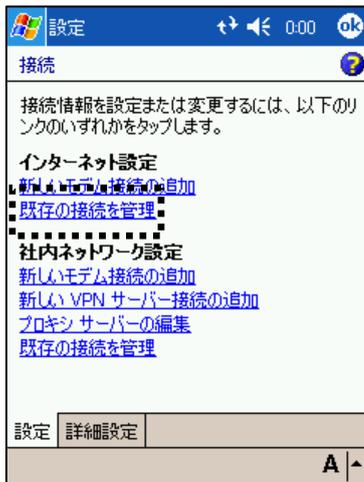
1. 画面上的「スタート」から「設定」を選択し、「接続」タブをタップします。



2. 「接続」アイコンをタップします。



3. 「既存の接続を管理」をタップします。



4. 作成した接続名(例: 接続)の上で長くタップし、「接続」を選択すると接続を開始します。



5. 接続が開始し、「接続中」のポップアップが表示されたら、「非表示」をタップします。
6. 接続を終了するには、画面右上の矢印のアイコンをタップすると「接続」のポップアップが表示されますので、「切断」をタップします。



以上で設定は完了です。

セットアップがうまくいかない場合 [99 ページ](#)を参照してください

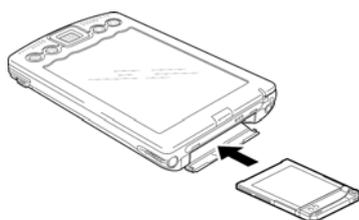
Pocket PC 2002 の場合

■通信カードをセットアップする

1. PDA の電源を ON にします。
2. PDA の CF カードスロットまたは PC カードスロットに本通信カードを差し込みます。

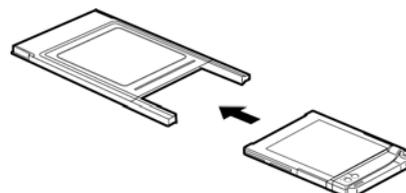
CF カードスロットに差し込む

本通信カードをカードスロットの挿入方向に注意して、奥までしっかり差し込んでください。

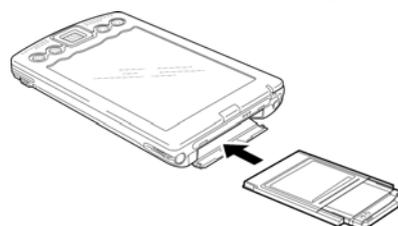


PC カードスロットに差し込む

- ① 通信カード本体のラベル面と PC カードアダプタのラベル面をそろえて、PC カードアダプタのガイド溝に合わせ、奥までしっかり差し込んでください。



- ② 通信カード本体をセットした PC カードアダプタを PC カードスロットの挿入方向に注意しながら奥までしっかり差し込んでください。



■接続先電話番号・接続に関する各種設定をする

インターネットに接続するためには、本商品に同梱の情報などを設定する必要があります。ここでは、以下のものが必要となります。

- アクセスポイント(接続先電話番号)
- ユーザー名(ユーザーID または接続 ID)、パスワード

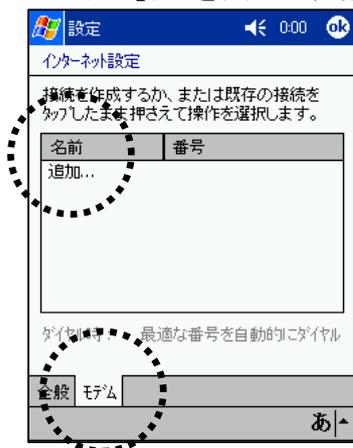
1. 画面上の「スタート」から「設定」を選択し、「接続」タブをタップします。
2. 「接続」アイコンをタップします。



3. 「…インターネットへ自動的に接続します」のプルダウンメニューが「インターネット設定」になっていることを確認し、「変更」をタップします。



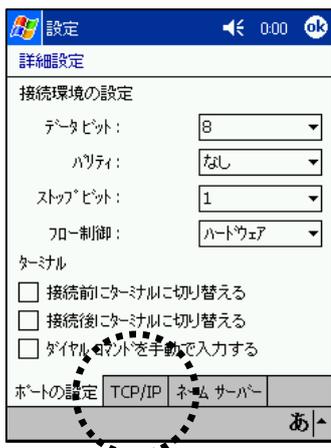
4. 「モデム」タブをタップし、「追加」をタップします。



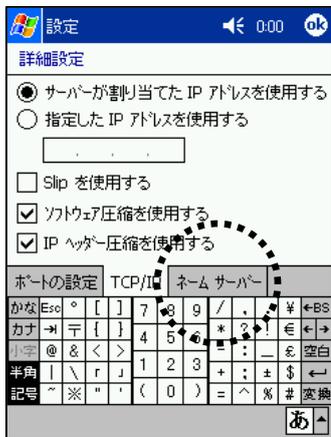
5. 「接続名」として通信方式や適切な名前など(例: 接続)を入力し、「モデムの選択」では「SII-PHS_BMS12C-J」を選びます。通信速度は「115200」を選び、「詳細設定」をタップします。



6. [ポートの設定]タブの内容は、通常は変更する必要はありません。
[TCP/IP]タブをタップします。



- 「サーバーが割り当てた IP アドレスを使用する」を選んでください。
入力を完了したら[ネームサーバー]タブをタップします。



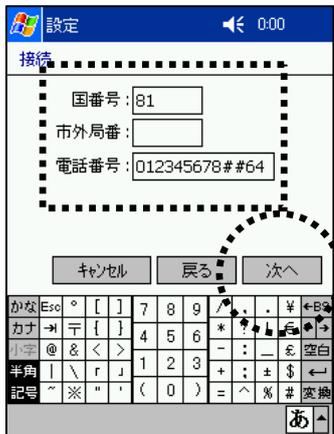
- 「サーバーが割り当てたネームサーバーアドレス」を選んでください。
入力を完了したら「OK」をタップします。



- 「設定」画面に戻りますので、「次へ」をタップします。



10. 「国番号」の欄に81、「市外局番」の欄は空欄にし、「電話番号」の欄に本商品に同梱のシートに記載の「アクセスポイント(接続先電話番号)」と「##番号」を入力し、「次へ」をタップします。



アクセスポイント(接続先電話番号) 接続先電話番号に続けて



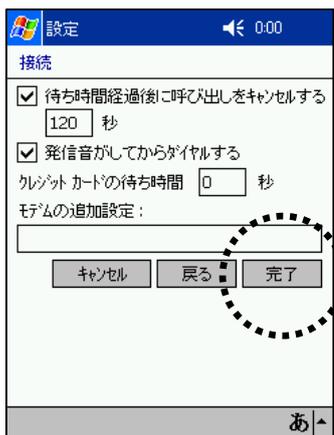
▶ ##61



▶ ##64

※ 接続先電話番号はお客様がご利用の商品によって異なります。
(上記画面の「0123456789##64」は入力例です。)

11. 「完了」をタップして設定を終了します。



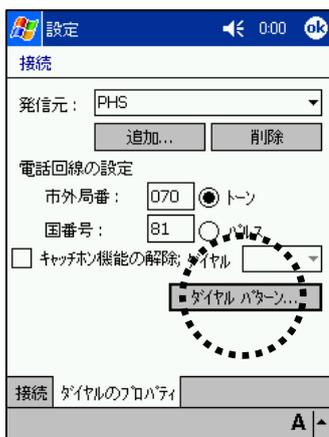
12. 新しい接続(例: 接続)が追加されました。「OK」をタップします。



13. 次にダイヤルのプロパティを設定しますので、[ダイヤルのプロパティ]タブをタップします。



14. 「発信元」に「PHS」を選び、「トーン」を選んで「ダイヤルパターン」をタップします。



15. 「市内通話」、「市外通話」、「国際電話」とともに「g」を入力して、「OK」をタップします。



16. [ダイヤルのプロパティ]タブに戻りますので「OK」をタップします。



以上で設定は完了です。

■インターネットに接続する

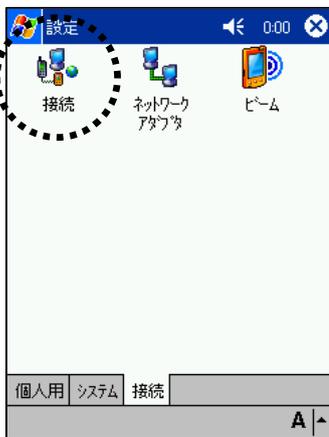
インターネットに実際に接続するには、本商品に同梱の以下の情報を手元に用意してください。

- ユーザー名(ユーザーID または接続 ID)
- パスワード

1. 画面上の「スタート」から「設定」を選択し、「接続」タブをタップします。



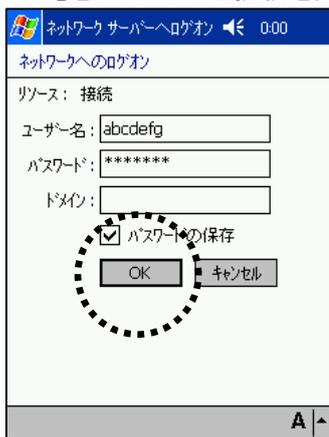
2. 「接続」アイコンをタップします。



- 「…インターネットへ自動接続します」のプルダウンメニューが「インターネット設定」になっていることを確認し、「接続」をタップします。



- 本商品に同梱のシートの「ユーザー名(ユーザーID または接続 ID)」と「パスワード」を入力し、「OK」をタップすると接続を開始します。



- 接続を終了するには、画面右上の矢印のアイコンをタップすると「接続完了」のポップアップが表示されますので、「終了」をタップします。



以上で設定は完了です。
 セットアップがうまくいかない場合 [99 ページ](#)を参照してください。

Windows XP の場合

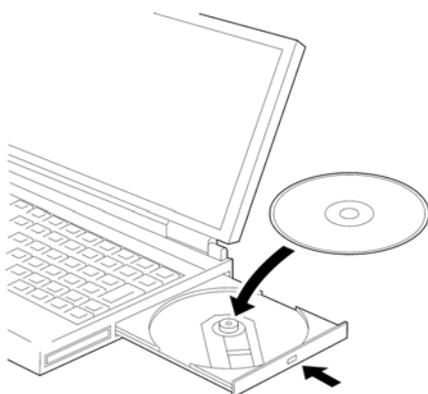
■通信カードをセットアップする



セットアップを行う際は、「コンピュータの管理者 (Administrator など)」のユーザー名でログオンする必要があります。もし、コンピュータのログオン用に複数のユーザー名を作成している場合にはご注意ください。

Professional Edition、Home Edition とも下記手順での設定となります。

1. コンピュータの電源を ON にします。
2. Windows XP が完全に立ち上がったら、商品に同梱の「セットアップディスク」を CD-ROM ドライブにセットします。

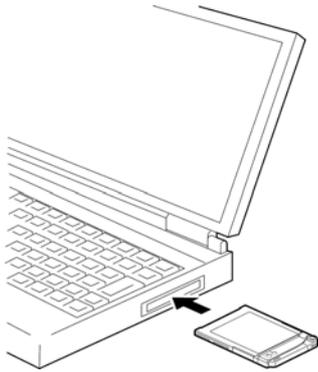


CD-ROMドライブがPCカード接続タイプで本通信カードと同時に装着できない場合は [43 ページ](#) をご参照ください。

3. コンピュータの CF カードスロットまたは PC カードスロットに本通信カードを差し込みます。

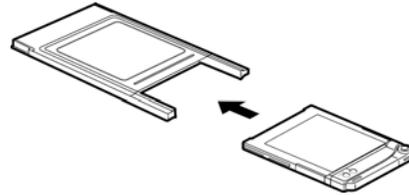
CF カードスロットに差し込む

本通信カードをカードスロットの挿入方向に注意して、奥までしっかり差し込んでください。



PC カードスロットに差し込む

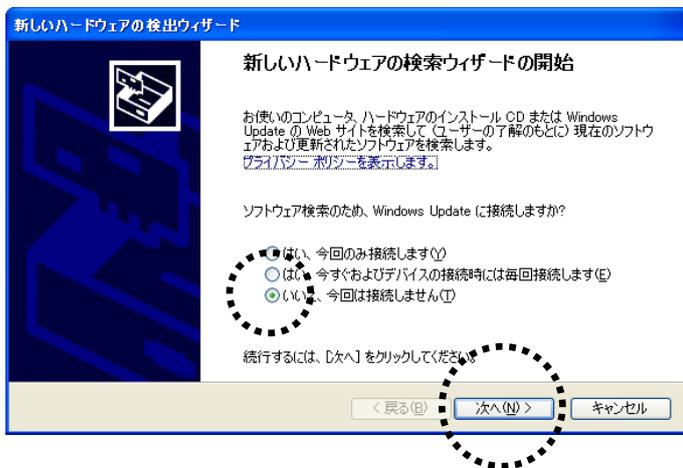
- ① 通信カード本体のラベル面と PC カードアダプタのラベル面をそろえて、PC カードアダプタのガイド溝に合わせ、奥までしっかり差し込んでください。



- ② 通信カード本体をセットした PC カードアダプタを PC カードスロットの挿入方向に注意しながら奥までしっかり差し込んでください。

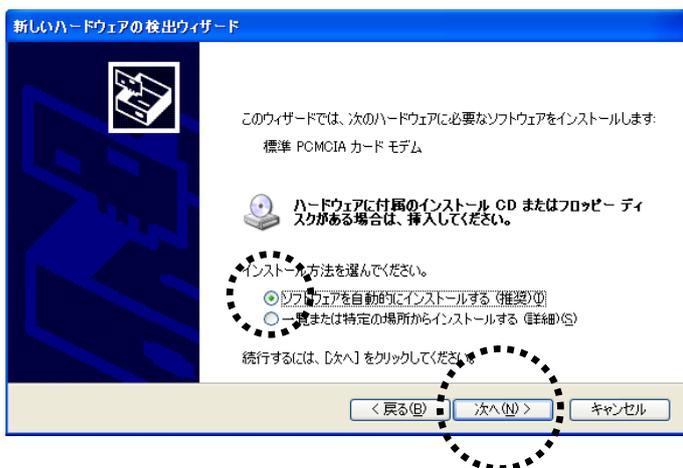


4. 「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示されます。「いいえ、今回は接続しません」を選び、「次へ」をクリックします。

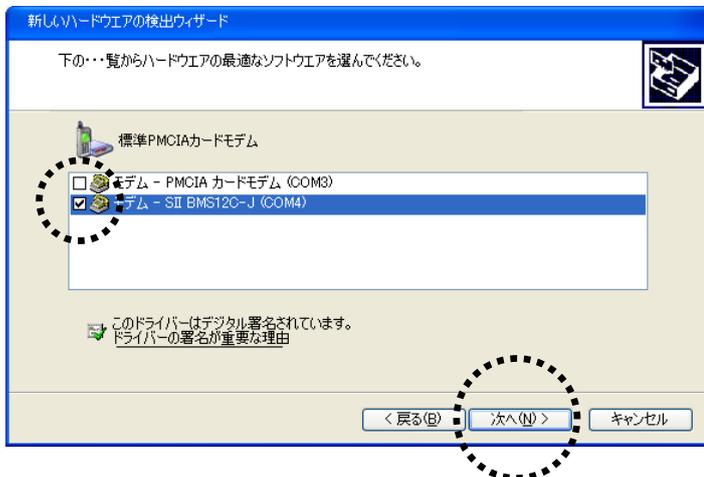


注意 Windows XP SP1 の場合、上記の画面は表示されません。☞手順 5 へ

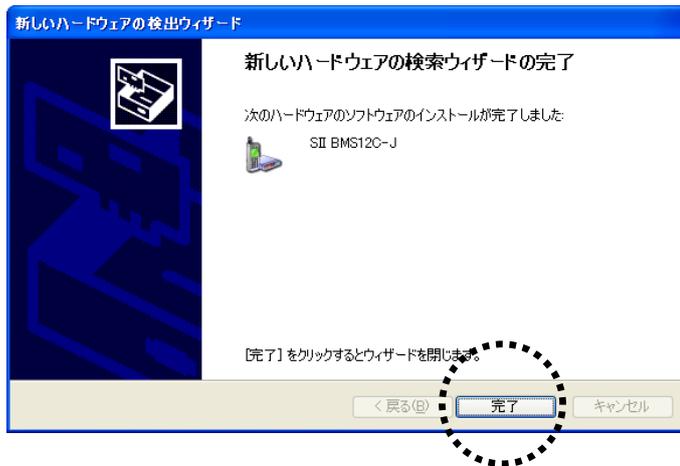
5. 以下の画面が表示されたら、「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選び、「次へ」をクリックします。



6. 以下の画面が表示されたら、「SII BMS12C-J」を選び、「次へ」をクリックします。



7. インストールが完了すると、以下の画面が表示されますので、「完了」をクリックします。



以上でセットアップは完了です。

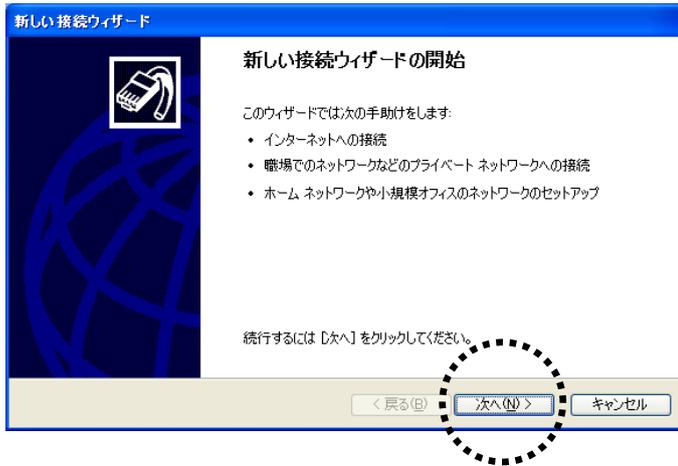
セットアップがうまくいかない場合  [100 ページ](#) を参照してください。
つづいて接続に関する設定を行います。

■接続先電話番号・接続に関する各種設定をする

インターネットに接続するためには、本商品に同梱の情報などを設定する必要があります。ここでは、以下のものが必要となります。

- アクセスポイント(接続先電話番号)
- ユーザー名(ユーザーID または接続 ID)、パスワード

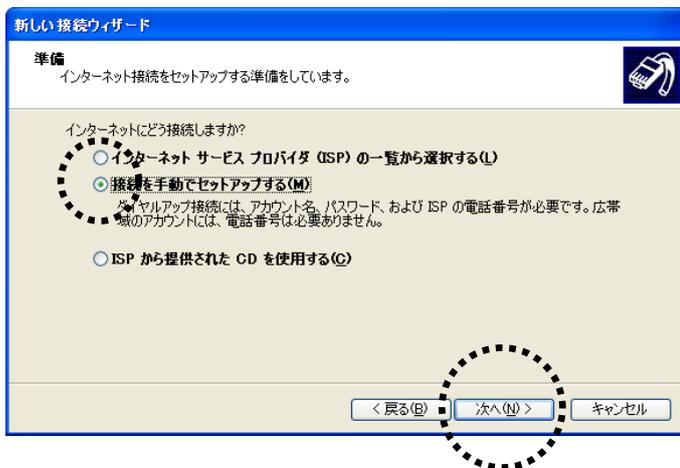
1. 「スタート」から「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「通信」-「新しい接続ウィザード」と開くと、「新しい接続ウィザードの開始」の画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。



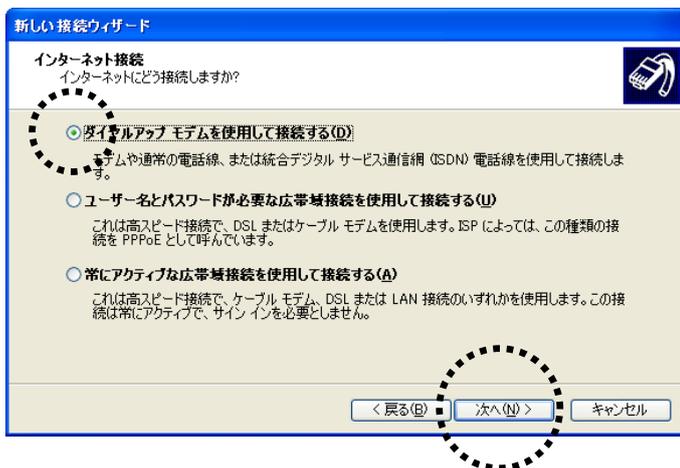
2. 「インターネットに接続する」を選び、「次へ」をクリックします。



3. 「接続を手動でセットアップする」を選び、「次へ」をクリックします。



4. 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選び、「次へ」をクリックします。



5. モデムが複数ある場合、次のような「デバイスの選択」の画面が表示されますので、「SII BMS12C-J」のみを選び、「次へ」をクリックします。



「SII BMS12C-J」以外のモデムがない場合は、以下の画面は表示されません。

☞ 手順 6 へ



6. 「ISP 名」の欄に適当な名前（例: 接続）を入力し、「次へ」をクリックします。

新しい接続ウィザード

接続名
インターネット接続を提供するサービスの名前は何か?

次の入力に ISP の名前を入力してください。

ISP 名(名)
接続

ここに入力した名前は作成している接続の名前になります。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

7. アクセスポイント(接続先電話番号)と通信方式(128kbps パケット方式など)を確認します。
8. 「電話番号」の欄に、本商品に同梱のシートに記載の「アクセスポイント(接続先電話番号)」と「##番号」を入力し、「次へ」をクリックします。

新しい接続ウィザード

ダイヤルする電話番号
ISP の電話番号を指定してください。

下に電話番号を入力してください。

電話番号(名)
0123456789##64

識別番号または市外局番が必要な場合があります。よくわからないときは、電話でその電話番号がダイヤルしてください。モデムの音が聞こえる場合はダイヤルしたその番号が正解です。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

アクセスポイント(接続先電話番号) 接続先電話番号に続けて

32kパケット方式	▶ ##61
128kパケット方式	▶ ##64

※ 接続先電話番号はお客様がご利用の商品によって異なります。
(上記画面の「0123456789##64」は入力例です。)

9. 本商品に同梱のシートに記載の「ユーザー名(ユーザーID または接続 ID)」、「パスワード」を入力し、「次へ」をクリックします。

ウィンドウ下の 2 つのチェックボックスはお使いの環境にあわせて選んでください。

新しい接続ウィザード

インターネット アカウント情報
インターネット アカウントにサインするにはアカウント名とパスワードが必要です。

ISP アカウント名およびパスワードを入力し、この情報を書き留めてから安全な場所に保管してください。(既存のアカウント名またはパスワードを忘れてしまった場合は、ISP に問い合わせください。)

ユーザー名(U): abcdefg
パスワード(P): *****
パスワードの確認入力(C): *****

このコンピュータからインターネットに接続するときは、だれでもこのアカウント名およびパスワードを使用する(S)
 この接続を既定のインターネット接続とする(M)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

10. 「完了」をクリックします。

新しい接続ウィザード

新しい接続ウィザードの完了

次の接続の作成に必要な手順は正常に完了しました。

接続

- 既定の接続にする
- このコンピュータのすべてのユーザーと共有する
- すべての人に同じユーザー名とパスワードを使用する

この接続は、[ネットワーク接続] フォルダに保存されます。

この接続へのショートカットをデスクトップに追加する(S)

接続を作成してウィザードを閉じるには、[完了] をクリックしてください。

< 戻る(B) 完了 キャンセル

以上で設定は完了です。

■インターネットに接続する

1. 「スタート」-「接続」-「すべての接続」を開き、「ネットワーク接続」ウィンドウ内に作成されたアイコン(例では接続) をダブルクリックします。



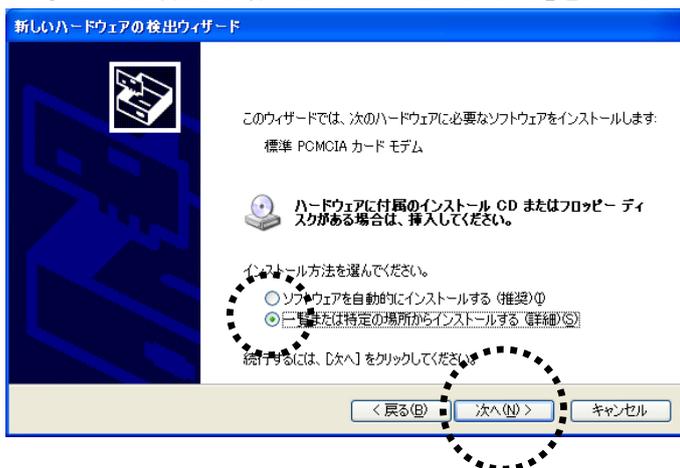
2. 「ダイヤル」をクリックすると、接続が開始されます。



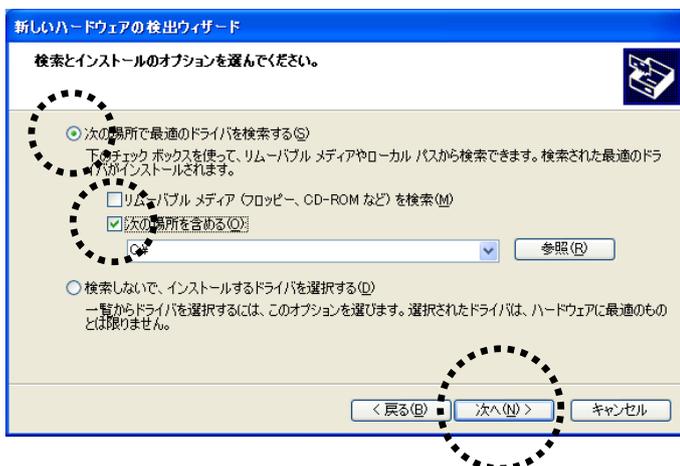
3. インターネットエクスプローラなどのブラウザソフトを起動してください。
4. 接続を終了するには、タスクトレイにあるダイヤルアップ接続中のアイコンをダブルクリックし、「切断」をクリックします。

■CD-ROMドライブがPCカード接続タイプで本通信カードと同時に接続できない場合

1. コンピュータの電源を ON にし、Windows XP を起動します。
2. CD-ROMドライブをコンピュータに接続します。
3. 商品に同梱の「セットアップディスク」を CD-ROMドライブにセットします。
4. CD-ROM内の「mdmsii12.inf」「mdmsii12.cat」の2つのファイルをコンピュータのデスクトップ上(画面上)にコピーします。
5. CD-ROMドライブをはずし、PCカードスロットにPCカードアダプタにセットした本通信カードを差し込みます。
「新しいハードウェアを検出しました」と一瞬表示された後、「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示されます。
6. 「一覧または特定の場所からインストールする」を選び、「次へ」をクリックします。



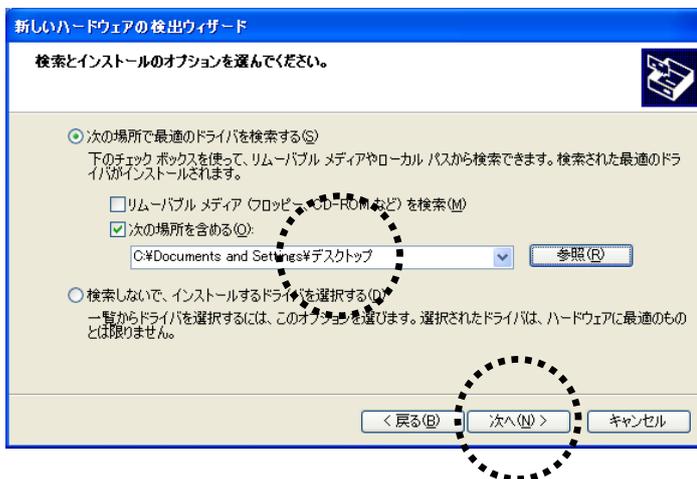
7. 「次の場所で最適なドライブを検索する」を選び、「次の場所を含める」のみをチェックし、「参照」をクリックします。



8. 「フォルダの参照」で「デスクトップ」を選び、「OK」をクリックします。



9. 「次の場所を含める」の下に「…¥デスクトップ」が表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。



10. 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」で「SII BMS12C-J」が表示されているのを確認したら、「完了」をクリックします。



以上でセットアップは完了です。

はじめにデスクトップ上(画面上)にコピーした「mdmsii12.inf」「mdmsii12.cat」の2つのファイルはもう必要ありませんので削除してください。

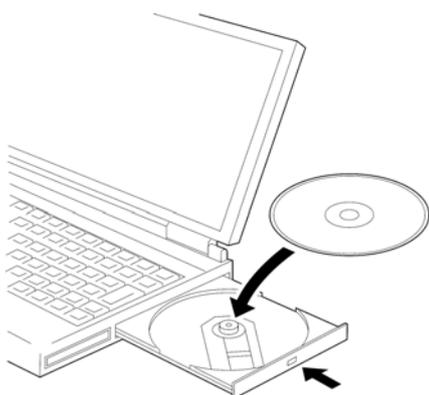
 [38 ページ](#)の「接続先電話番号・接続に関する各種設定をする」を参照し、設定を行ってください。

セットアップがうまくいかない場合  [100 ページ](#)を参照してください。

Windows Me の場合

■通信カードをセットアップする

1. コンピュータの電源を ON にします。
2. Windows Me が完全に立ち上がったら、商品に同梱の「セットアップディスク」を CD-ROMドライブにセットします。

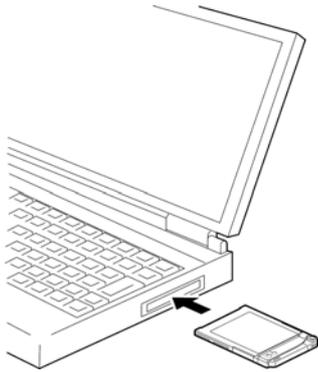


CD-ROMドライブがPCカード接続タイプで本通信カードと同時に装着できない場合は [55 ページ](#)をご参照ください。

3. コンピュータの CF カードスロットまたは PC カードスロットに本通信カードを差し込みます。

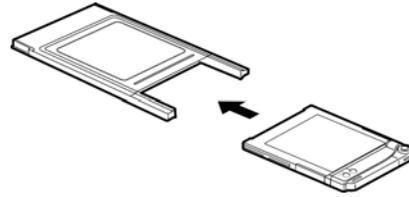
CF カードスロットに差し込む

本通信カードをカードスロットの挿入方向に注意して、奥までしっかり差し込んでください。



PC カードスロットに差し込む

- ① 通信カード本体のラベル面と PC カードアダプタのラベル面をそろえて、PC カードアダプタのガイド溝に合わせ、奥までしっかり差し込んでください。



- ② 通信カード本体をセットした PC カードアダプタを PC カードスロットの挿入方向に注意しながら奥までしっかり差し込んでください。



4. 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されます。



5. 「適切なドライバを自動的に検索する」を選び、「次へ」をクリックします。



6. 以下の画面で「SII BMS12C-J」が表示されているのを確認したら、「完了」をクリックします。



以上でセットアップは完了です。

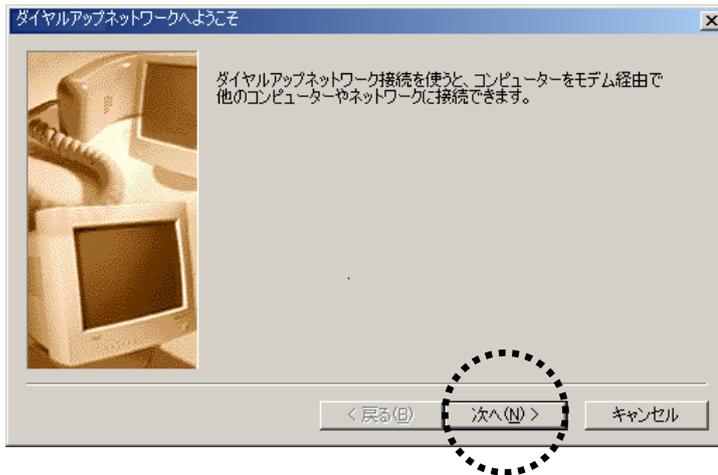
セットアップがうまくいかない場合  [103 ページ](#)を参照してください。
つづいて接続に関する設定を行います。

■接続先電話番号・接続に関する各種設定をする

インターネットに接続するためには、本商品に同梱の情報などを設定する必要があります。ここでは、以下のものが必要となります。

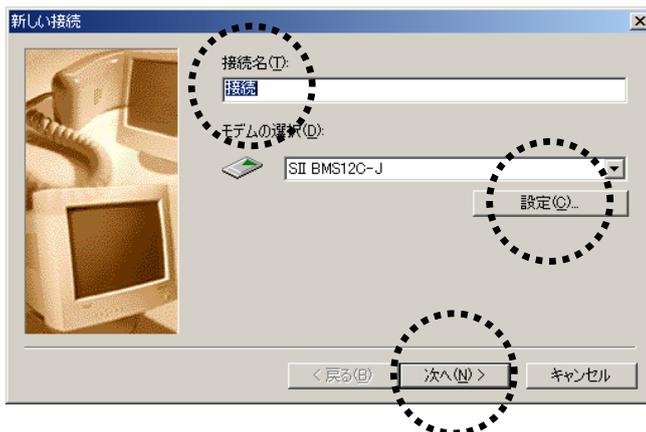
●アクセスポイント(接続先電話番号)

1. 「スタート」から「プログラム」-「アクセサリ」-「通信」-「ダイヤルアップネットワーク」と開くと、「ダイヤルアップネットワークへようこそ」の画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。



すでにダイヤルアップネットワークを使用している場合は、「新しい接続」をダブルクリックして手順 2 に進んでください。

2. 「接続名」の欄に適当な名前(例: 接続)を入力し、「モデムの選択」で「SII BMS12C-J」を選んで、「次へ」をクリックします。



「モデムの選択」で「SII BMS12C-J」が表示されない場合、お使いのコンピュータに本通信カードが正しく認識されていないことが考えられます。その場合は、「キャンセル」をクリックして、この手順を一時中断し、「本通信カードが動作しない場合の確認手順」を参照してください。☞ [103 ページ](#)

3. 「電話番号」の欄に、本商品に同梱のシートに記載の「アクセスポイント(接続先電話番号)」と「##番号」を入力します。

「市外局番」の欄は空欄、「国番号」は「日本(81)」を選び、「次へ」をクリックしてください。

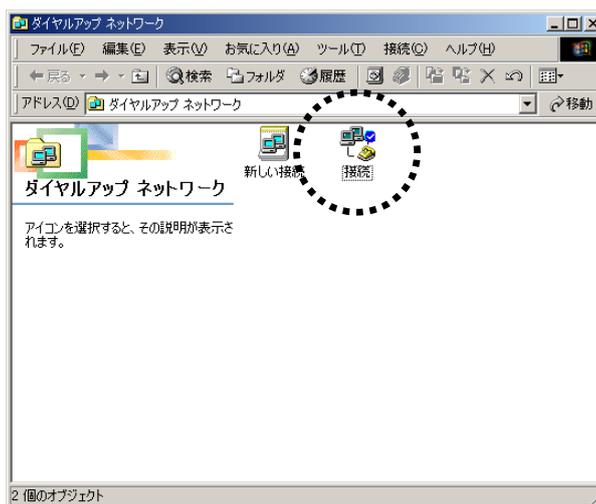
アクセスポイント(接続先電話番号) 接続先電話番号に続けて

32kバケット方式	▶ ##61
128kバケット方式	▶ ##64

※ 接続先電話番号はお客様がご利用の商品によって異なります。
(上記画面の「0123456789##64」は入力例です。)

4. 「完了」をクリックします。

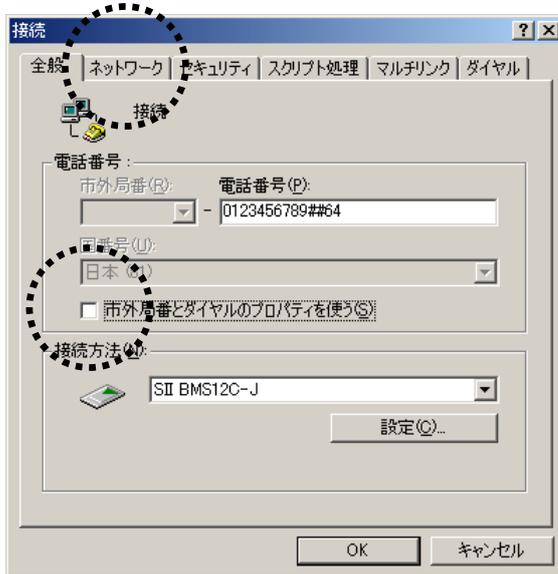
「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウ内に手順 2 で指定した名前のアイコンが作成されます。



5. 「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウ内に作成されたアイコン（例では接続）をクリックし、「ファイル」メニューから「プロパティ」を選びます。



6. 「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」のチェックをはずし、ネットワーク」タブをクリックします。



7. サーバーの種類は「PPP:インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me」を、詳細オプションは「ソフトウェア圧縮をする」を、使用できるネットワークプロトコルは「TCP/IP」のみを選び、それ以外のチェックをはずして「TCP/IP 設定」をクリックします。



8. 「TCP/IP 設定」ウィンドウでは、「サーバーが割り当てたネームサーバーアドレス(E)」を指定してください。

設定が完了したら、右下の「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウに、図のようなアイコン(例:接続)が表示されるまで「OK」を続けてクリックします。

このアイコンが表示されれば、設定は完了です。

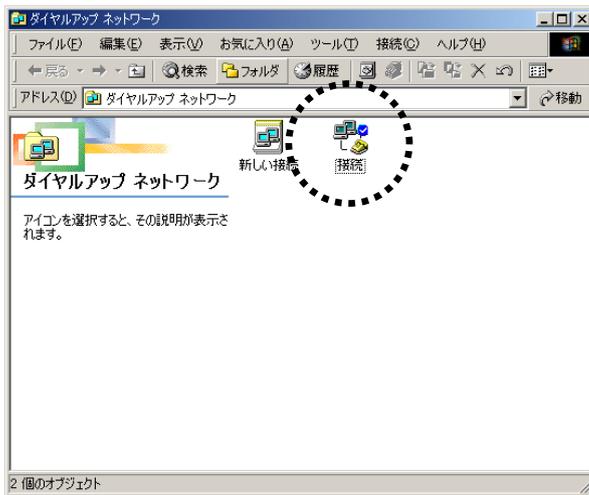


■インターネットに接続する

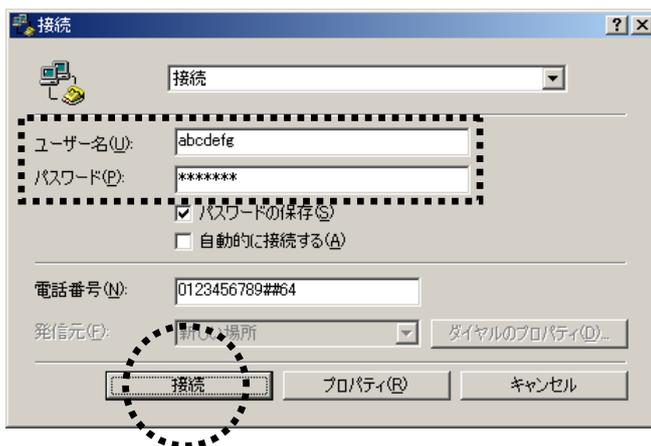
インターネットに実際に接続するには、本商品に同梱の以下の情報を手元に用意してください。

- ユーザー名(ユーザーID または接続 ID)
- パスワード

1. [53 ページ](#)で作成された「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウ内のアイコン（例では接続）をダブルクリックします。



2. 本商品に同梱のシートに記載の「ユーザー名(ユーザーID または接続 ID)」と「パスワード」を入力し、「接続」をクリックすると接続が開始されます。



3. インターネットエクスプローラなどのブラウザソフトを起動してください。
4. 接続を終了するには、タスクトレイにあるダイヤルアップ接続中のアイコンをダブルクリックし、「切断」をクリックします。

■CD-ROMドライブがPCカード接続タイプで本通信カードと同時に装着できない場合

1. コンピュータの電源を ON にし、Windows Me を起動します。
2. CD-ROMドライブをコンピュータに接続します。
3. 商品に同梱の「セットアップディスク」を CD-ROMドライブにセットします。
4. CD-ROM 内の「mdmsii12.inf」「mdmsii12.cat」の 2 つのファイルをコンピュータのデスクトップ上（画面上）にコピーします。
5. CD-ROMドライブをはずし、PC カードスロットに PC カードアダプタにセットした本通信カードを差し込みます。
6. 以下の画面が表示されたら、「ドライバの場所を指定する」を選び、「次へ」をクリックします。



7. 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)」を選び、「検索場所の指定(L)」にのみチェックを入れ、「参照」をクリックします。



8. 「フォルダの参照」で、デスクトップを選び、「OK」をクリックします。



9. 「検索場所の指定」の下に「…\デスクトップ」が表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。



10. 「デバイス用のドライバファイルの検索」の下に「SII BMS12C-J」が表示されているのを確認し、「次へ」をクリックします。



11. 以下の画面のように「SII BMS12C-J」が表示されているのを確認したら、「完了」をクリックします。



以上でセットアップは完了です。

セットアップがうまくいかない場合 [103 ページ](#)を参照してください。

はじめにデスクトップ上(画面上)にコピーした「mdmsii12.inf」「mdmsii12.cat」の 2 つのファイルはもう必要ありませんので削除してください。

☞ [49 ページ](#)の「接続先電話番号・接続に関する各種設定をする」を参照し、設定を行ってください。

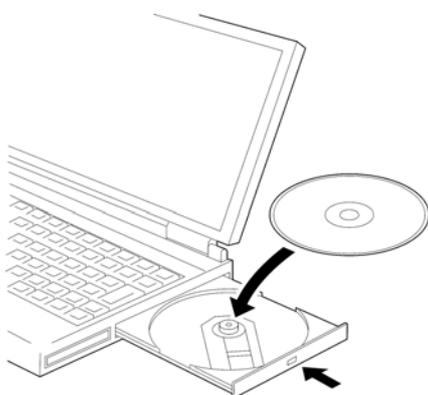
Windows 2000 の場合

■通信カードをセットアップする



セットアップを行う際は、「コンピュータの管理者 (Administrator など)」のユーザー名でログオンする必要があります。もし、コンピュータのログオン用に複数のユーザー名を作成している場合にはご注意ください。

1. コンピュータの電源を ON にします。
2. Windows 2000 が完全に立ち上がったら、商品に同梱の「セットアップディスク」を CD-ROM ドライブにセットします。

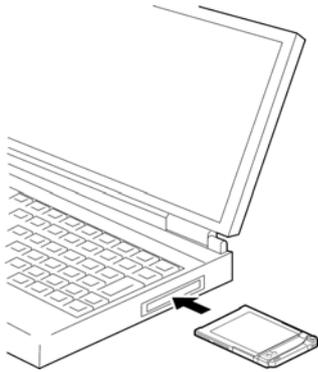


CD-ROMドライブがPCカード接続タイプで本通信カードと同時に装着できない場合は [70 ページ](#) をご参照ください。

3. コンピュータの CF カードスロットまたは PC カードスロットに本通信カードを差し込みます。

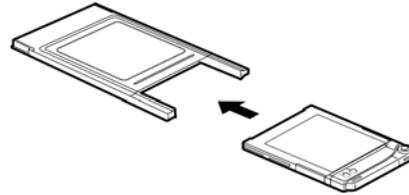
CF カードスロットに差し込む

本通信カードをカードスロットの挿入方向に注意して、奥までしっかり差し込んでください。



PC カードスロットに差し込む

- ① 通信カード本体のラベル面と PC カードアダプタのラベル面をそろえて、PC カードアダプタのガイド溝に合わせ、奥までしっかり差し込んでください。



- ② 通信カード本体をセットした PC カードアダプタを PC カードスロットの挿入方向に注意しながら奥までしっかり差し込んでください。

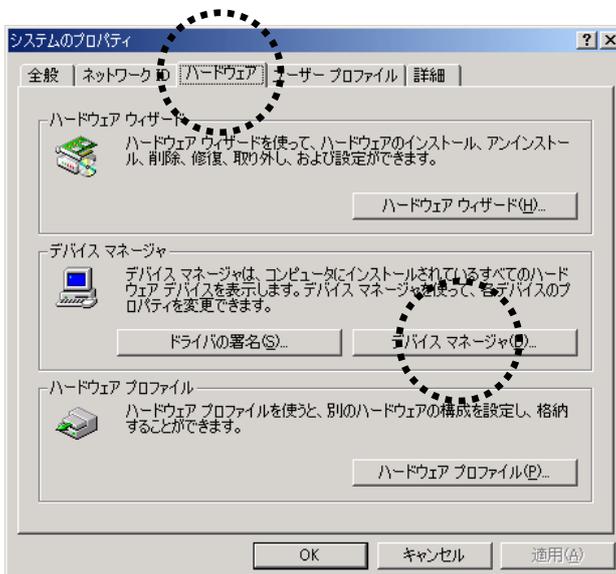


4. 「新しいハードウェアが見つかりました」と一瞬表示された後、「標準 PCMCIA カードモデム」としていったん自動認識されます。

「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」と開き、「コントロールパネル」の中の「システム」をダブルクリックします。



5. 「システムのプロパティ」が表示されたら、[ハードウェア]タブを選び、「デバイスマネージャ」をクリックします。



6. 「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されたら、「モデム」をダブルクリックした上で、「標準 PCMCIA カードモデム」をダブルクリックします。



「標準 PCMCIA カードモデム」が複数登録されている場合、「標準 PCMCIA カードモデムのプロパティ」ウィンドウ（手順 7 の図を参照）を開き、[診断] タブをクリックして、表示されるウィンドウの「モデム情報」欄に「PCMCIA¥SII-PHS_BMS12C-J-A6B0」が表示されているのを確認した上で、以降の作業に進んでください。

7. 「標準 PCMCIA カードモデムのプロパティ」が表示されたら、[ドライバ]タブを選び、「ドライバの更新」をクリックします



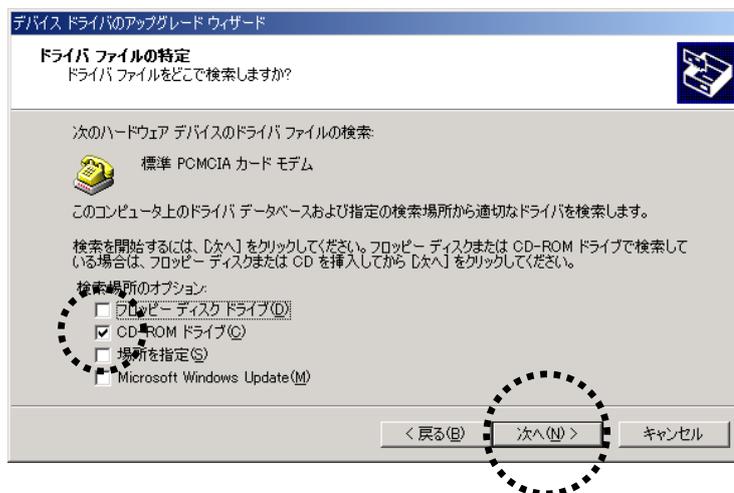
8. 「デバイスドライバのアップグレードウィザード」が表示されたら、「次へ」をクリックします。



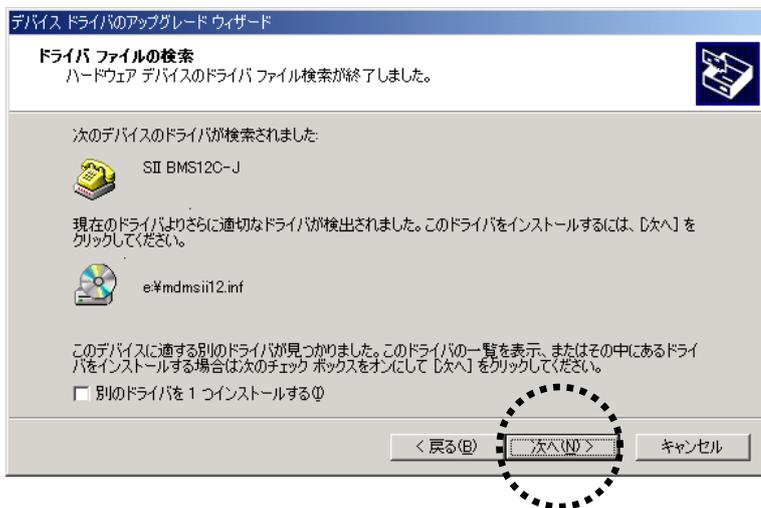
9. 「デバイスに最適なドライバを検索する」を選び、「次へ」をクリックします。



10. 「CD-ROM ドライブ」のみをチェックし、他のチェックをはずして、「次へ」をクリックします。



11. 「次へ」をクリックします。



12. 「SII BMS12C-J」が表示されているのを確認したら、「完了」をクリックします。



以上でセットアップは完了です。

セットアップがうまくいかない場合  [106 ページ](#)を参照してください。
つづいて接続に関する設定を行います。

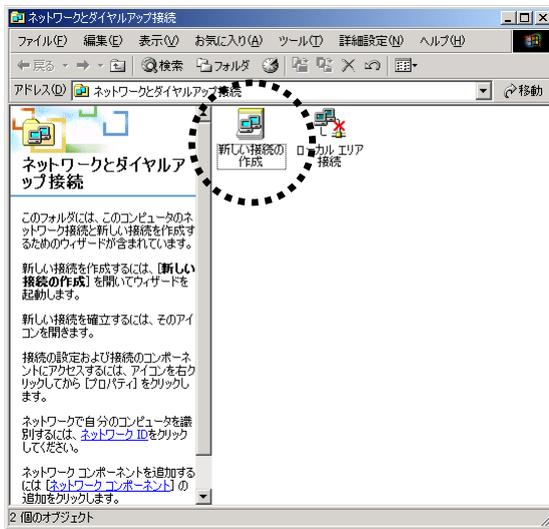
■接続先電話番号・接続に関する各種設定をする

インターネットに接続するためには、本商品に同梱の情報などを設定する必要があります。ここでは、以下のものが必要となります。

- アクセスポイント(接続先電話番号)
- ユーザー名(ユーザーID または接続 ID)、パスワード

1. 「スタート」から「プログラム」-「アクセサリ」-「通信」-「ネットワークとダイヤルアップ接続」と開くと、「ネットワークとダイヤルアップ接続」の画面が表示されます。

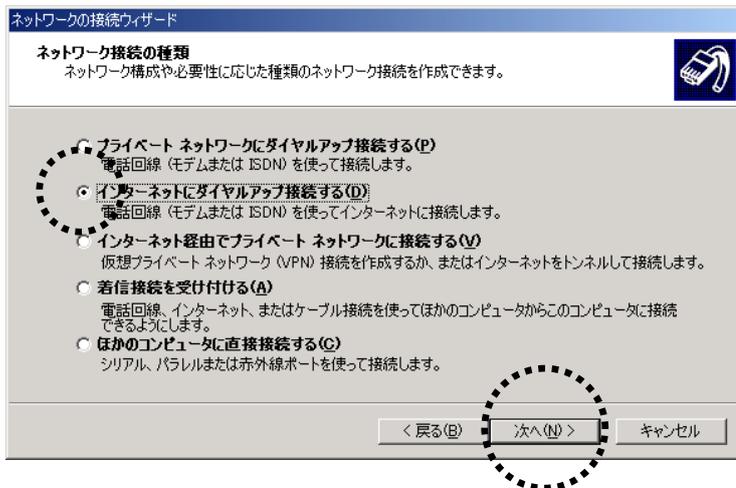
このウィンドウ内にある「新しい接続」をダブルクリックします。



2. 「ネットワークの接続ウィザードの開始」が表示されたら、「次へ」をクリックします。



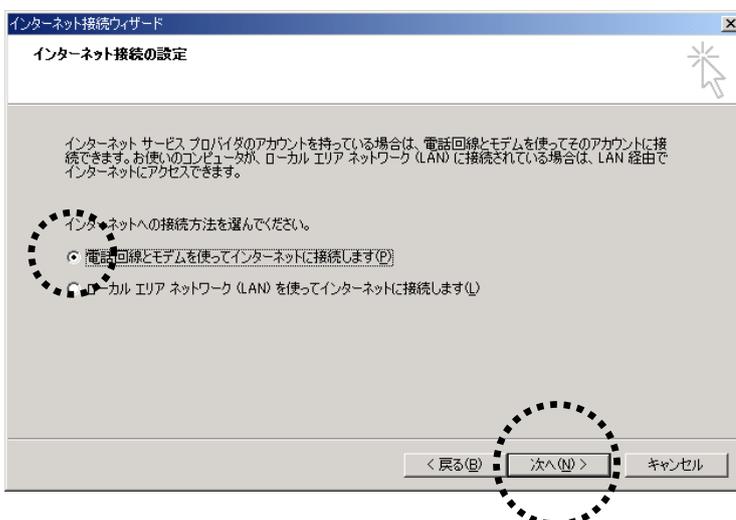
3. 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選び、「次へ」をクリックします。



4. 「インターネット接続ウィザードの開始」が表示されたら、「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワークを使って接続します」を選び、「次へ」をクリックします。



5. 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選び、「次へ」をクリックします。

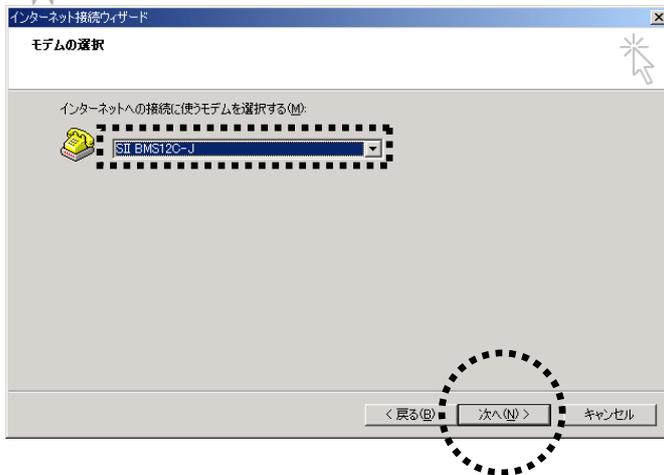


6. 「モデムの選択」で「SII BMS12C-J」を選び、「次へ」をクリックします。



「SII BMS12C-J」以外のモデムがない場合は、以下の画面は表示されません。

☞ 手順 7 へ



「モデムの選択」で「SII BMS12C-J」が表示されない場合、お使いのコンピュータに本通信カードが正しく認識されていないことが考えられます。その場合は、「キャンセル」をクリックして、この手順を一時中断し、「本通信カードが動作しない場合の確認手順」を参照してください。☞ [106 ページ](#)

7. アクセスポイント(接続先電話番号)と通信方式を確認します。
8. 「電話番号」の欄に、本商品に同梱のシートに記載の「アクセスポイント(接続先電話番号)」と「##番号」を入力します。
「市外局番」の欄は空欄にし、「国番号」は「日本(81)」を選び、「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックボックスのチェックをはずして、「詳細設定」をクリックしてください。



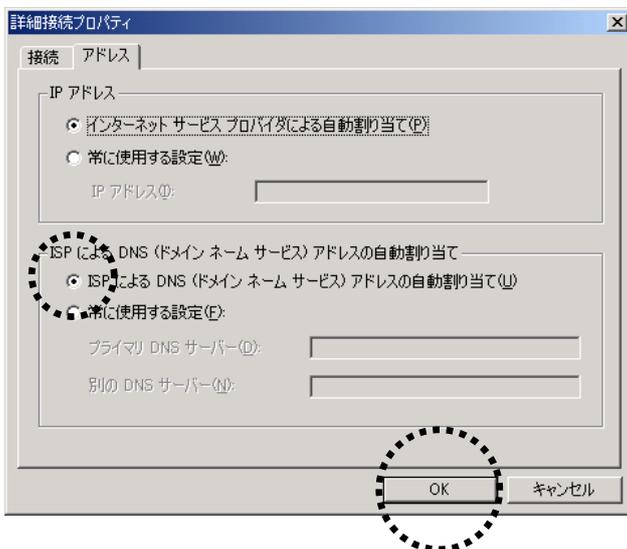
アクセスポイント(接続先電話番号)

32kバケット方式	▶ ##61
128kバケット方式	▶ ##64

接続先電話番号に続けて

- ※ 接続先電話番号はお客様がご利用の商品によって異なります。
- ※ (上記画面の「0123456789##64」は入力例です。)

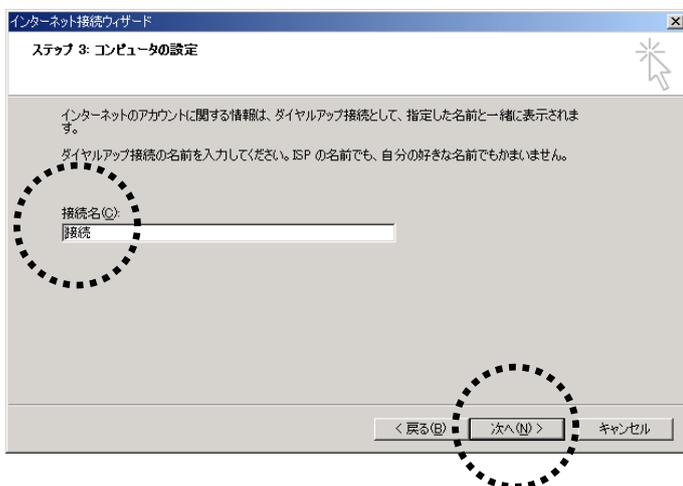
9. [アドレス]タブの「ISP による DNS アドレスの自動割り当て」欄は、「ISP による DNS アドレスの自動割り当て」を指定してください。入力が完了したら「OK」をクリックします。



10. ..本商品に同梱のシートに記載の「ユーザー名 (ユーザーID または接続 ID)」、「パスワード」を入力し、「次へ」をクリックします。

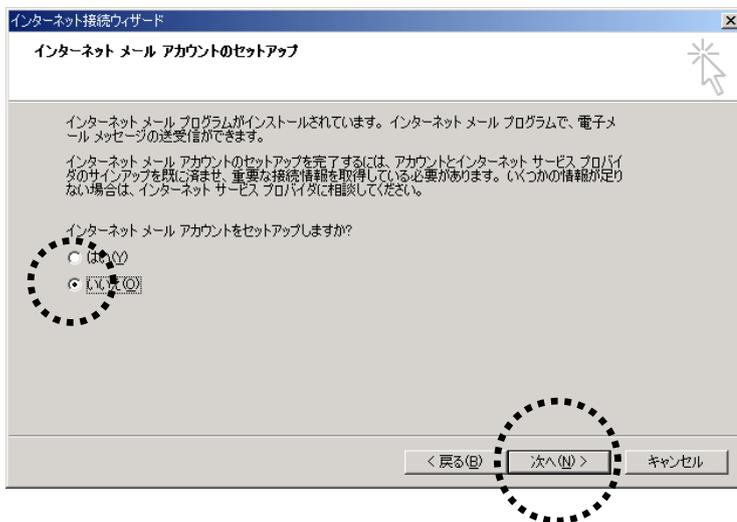


11. 「接続名」の欄に適当な名前 (例: 接続) を入力して、「次へ」をクリックします。



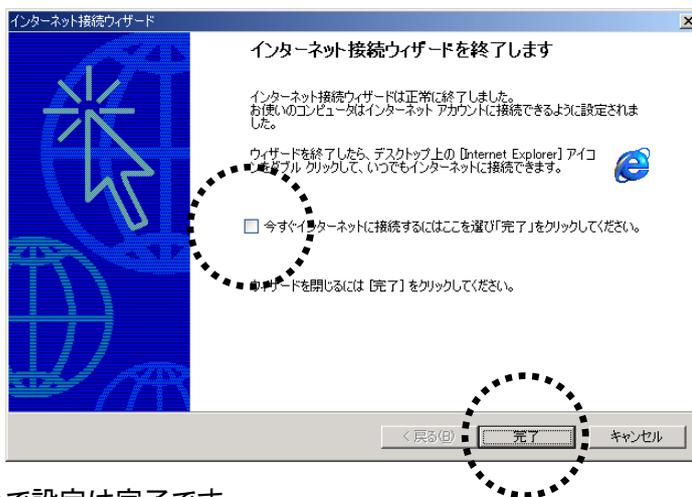
12. 「いいえ」を選び、「次へ」をクリックします。

(メールアドレスの設定は、後からインターネット接続ウィザードを起動して設定することができます。)

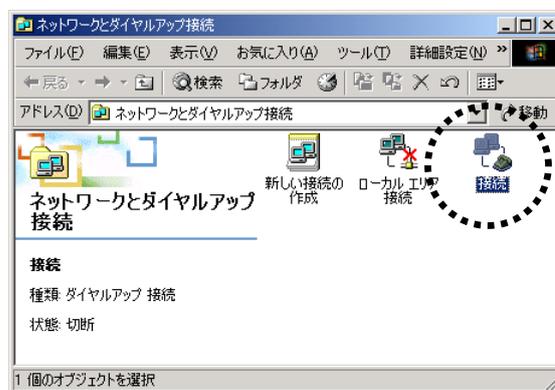


13. 「今すぐインターネットに接続するには…」のチェックをはずし、「完了」をクリックします。

「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウ内に手順 11 で指定した名前のアイコンが作成されます。

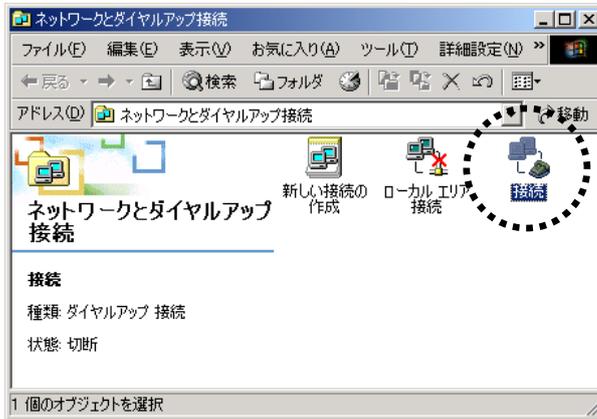


以上で設定は完了です。

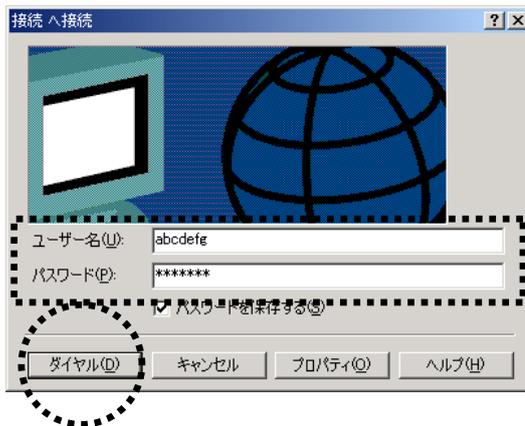


■インターネットに接続する

1. [68 ページ](#)で作成された「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウ内のアイコン（例では接続）をダブルクリックします。



2. 本商品に同梱のシートに記載の「ユーザー名(ユーザーID または接続 ID)」と「パスワード」を入力し、「ダイヤル」をクリックすると、接続が開始されます。



3. インターネットエクスプローラなどのブラウザソフトを起動してください。
4. 接続を終了するにはタスクトレイにあるダイヤルアップ接続中のアイコンをダブルクリックし「切断」をクリックします。

- 「デバイスマネージャ」が表示されたら、「モデム」をダブルクリックした上で、「標準 PCMCIA カードモデム」をダブルクリックします。



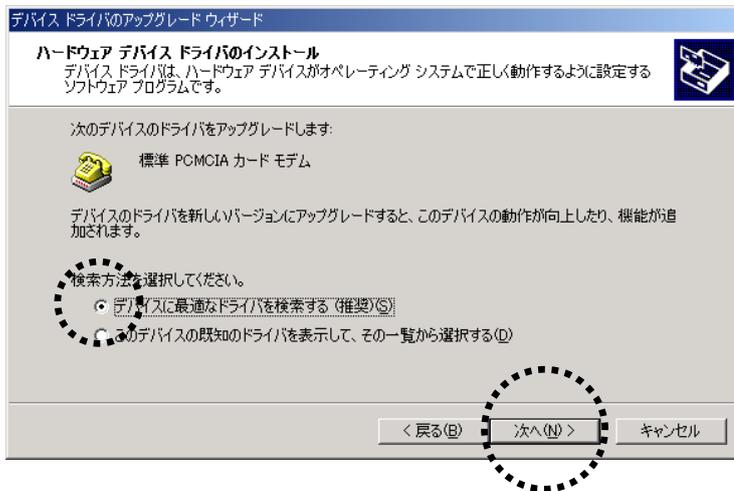
「標準 PCMCIA カードモデム」が複数登録されている場合、「標準 PCMCIA カードモデムのプロパティ」ウインドウを開き、[診断]タブをクリックして、表示される「モデム情報」欄に「PCMCIA¥SII-PHS_BMS12C-J-A6B0」が表示されているものが本通信カードのものです。

- 「標準 PCMCIA カードモデムのプロパティ」が表示されたら、[ドライバ]タブを選び、「ドライバの更新」をクリックします。



- 「デバイスドライバのアップグレードウィザード」が表示されたら、「次へ」をクリックします。

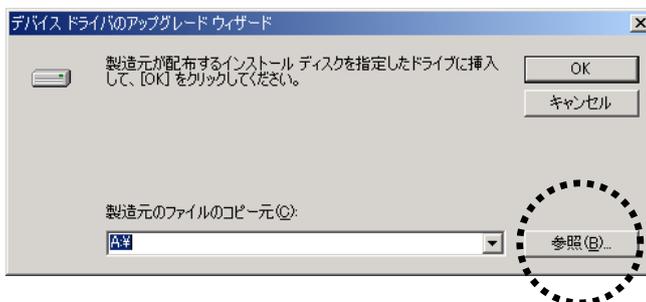
11. 「デバイスに最適なドライバを検索する」を選び、「次へ」をクリックします。



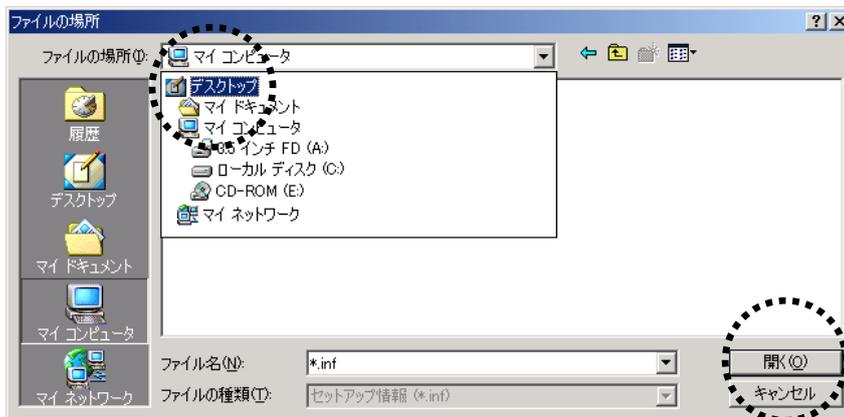
12. 「場所を指定」のみをチェックし、「次へ」をクリックします。



13. 「参照」をクリックします。



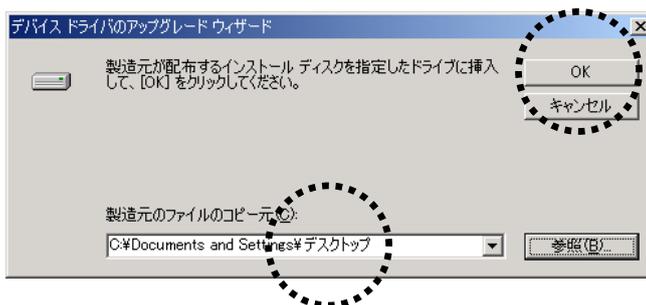
14. 「ファイルの場所」で「デスクトップ」を選び、「開く」をクリックします。



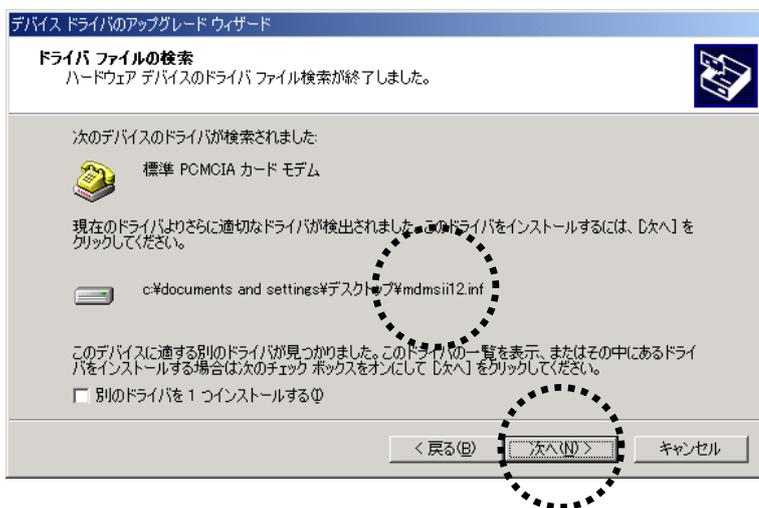
15. 「ファイル名」に「mdmsii2(.inf)」が表示されているのを確認したら、「開く」をクリックします。



16. 「製造元のファイルのコピー元」に「…¥デスクトップ」が表示されているのを確認したら、「OK」をクリックします。



17. 「現在のドライバよりさらに適切な…」の下に「…mdmsii12.inf」が表示されているのを確認したら、「次へ」をクリックします。



18. 「SII BMS12C-J」が表示されているのを確認したら、「完了」をクリックします。



以上でセットアップは完了です。

セットアップがうまくいかない場合  [106 ページ](#)を参照してください。

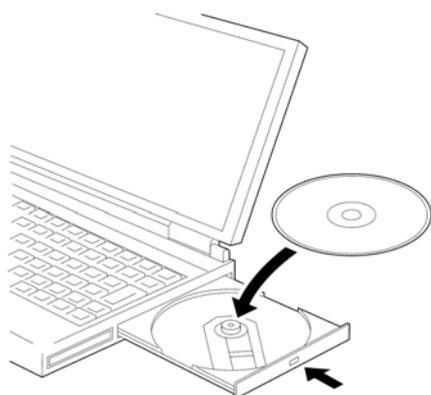
はじめにデスクトップ上(画面上)にコピーした「mdmsii12.inf」「mdmsii12.cat」の 2 つのファイルはもう必要ありませんので削除してください。

 [64 ページ](#)の「接続先電話番号・接続に関する各種設定をする」を参照し、設定を行ってください。

Windows 98 / 98SE の場合

■通信カードをセットアップする

1. コンピュータの電源を ON にします。
2. Windows 98 が完全に立ち上がったら、商品に同梱の「セットアップディスク」を CD-ROM ドライブにセットします。

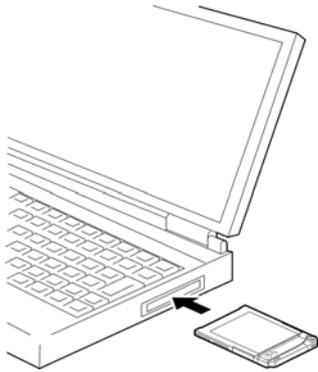


CD-ROMドライブがPCカード接続タイプで本通信カードと同時に装着できない場合は [85 ページ](#)をご参照ください。

3. コンピュータの CF カードスロットまたは PC カードスロットに本通信カードを差し込みます。

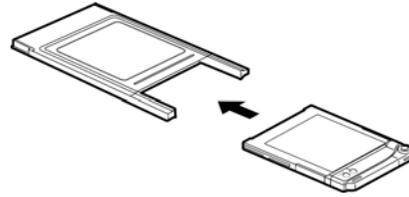
CF カードスロットに差し込む

本通信カードをカードスロットの挿入方向に注意して、奥までしっかり差し込んでください。



PC カードスロットに差し込む

- ① 通信カード本体のラベル面と PC カードアダプタのラベル面をそろえて、PC カードアダプタのガイド溝に合わせ、奥までしっかり差し込んでください。



- ② 通信カード本体をセットした PC カードアダプタを PC カードスロットの挿入方向に注意しながら奥までしっかり差し込んでください。



4. 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



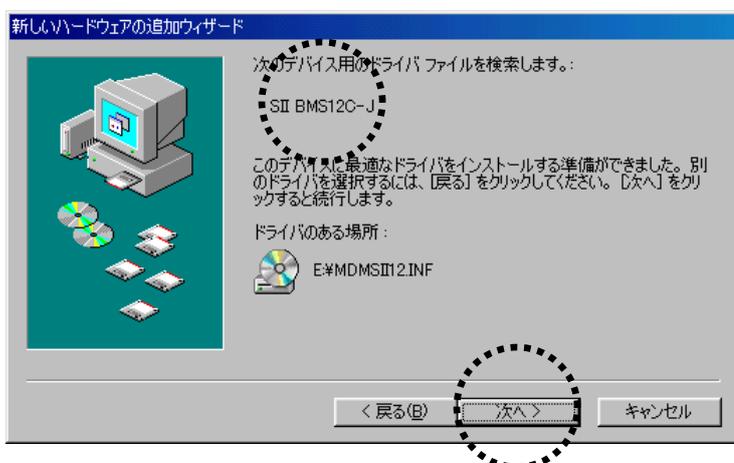
5. 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選び、「次へ」をクリックします。



6. 「CD-ROM ドライブ」のみをチェックし、他のチェックをはずして、「次へ」をクリックします。



7. 「次のデバイス用のドライバファイルを検索します」の下に「SII BMS12C-J」が表示されているのを確認して、「次へ」をクリックします。



8. 「SII BMS12C-J」が表示されているのを確認したら、「完了」をクリックします。



以上でセットアップは完了です。

セットアップがうまくいかない場合  [103 ページ](#)を参照してください。
つづいて接続に関する設定を行います。

■接続先電話番号・接続に関する各種設定をする

インターネットに接続するためには、本商品に同梱の情報などを設定する必要があります。ここでは、以下のものが必要となります。

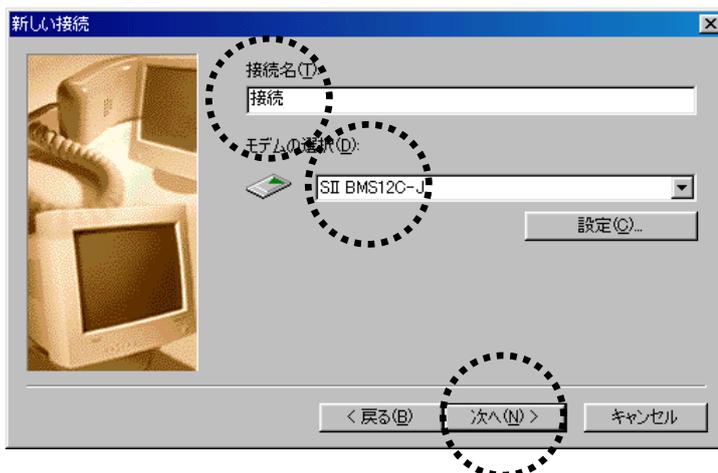
●アクセスポイント(接続先電話番号)

1. 「スタート」から「プログラム」-「アクセサリ」-「通信」-「ダイヤルアップネットワーク」と開くと、「ダイヤルアップネットワークへようこそ」の画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。



すでにダイヤルアップネットワークを使用している場合は、「新しい接続」をダブルクリックして手順 2 に進んでください。

2. 「接続名」の欄に適当な名前(例: 接続)を入力し、「モデムの選択」で「SII BMS12C-J」を選び、「次へ」をクリックします。



注意

「モデムの選択」で「SII BMS12C-J」が表示されない場合、お使いのコンピュータに本通信カードが正しく認識されていないことが考えられます。その場合は、「キャンセル」をクリックして、この手順を一時中断し、「本通信カードが動作しない場合の確認手順」を参照してください。☞ [103 ページ](#)

3. 「電話番号」の欄に、本商品に同梱のシートに記載の「アクセスポイント(接続先電話番号)」と「##番号」を入力します。

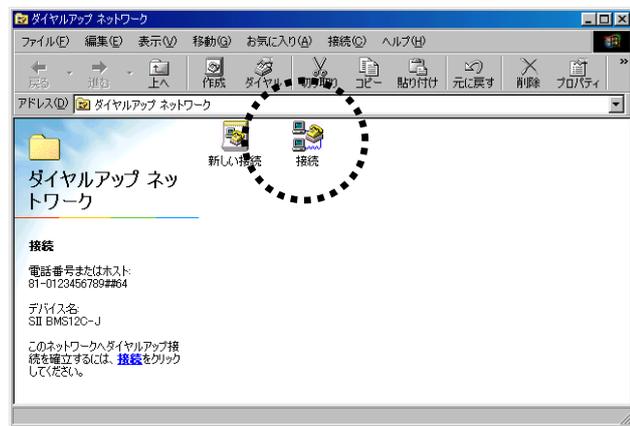
「市外局番」の欄は空欄にし、「国番号」は「日本(81)」を選び、「次へ」をクリックしてください。

アクセスポイント(接続先電話番号) 接続先電話番号に続けて

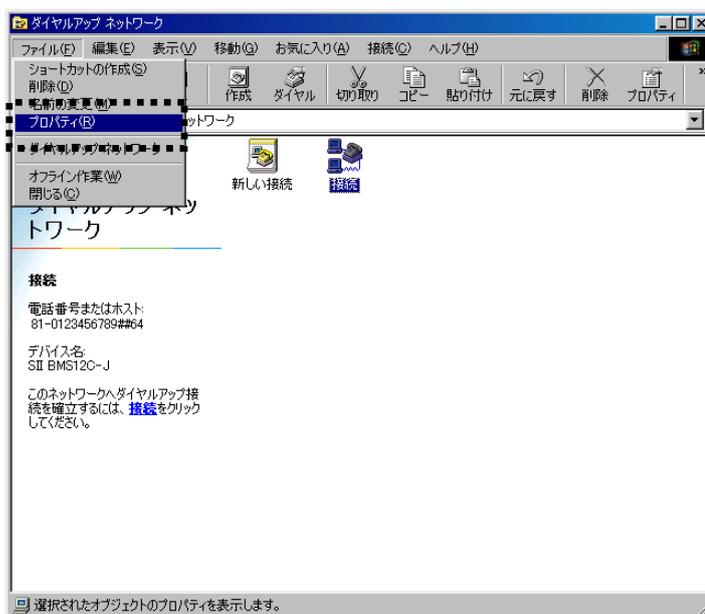
32kパケット方式	▶ ##61
128kパケット方式	▶ ##64

※ 接続先電話番号はお客様がご利用の商品によって異なります。
(上記画面の「0123456789##64」は入力例です。)

4. 「完了」をクリックします。
「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウ内に手順 2 で指定した名前のアイコン（例では接続）が作成されます。



5. 「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウ内に作成されたアイコン（例では接続）をクリックし、「ファイル」メニューから「プロパティ」を選びます。



- 「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」のチェックをはずし、[サーバーの種類]タブをクリックします。



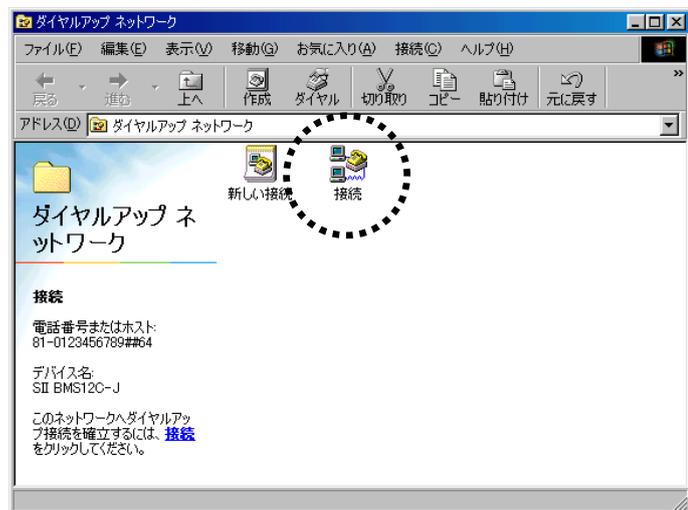
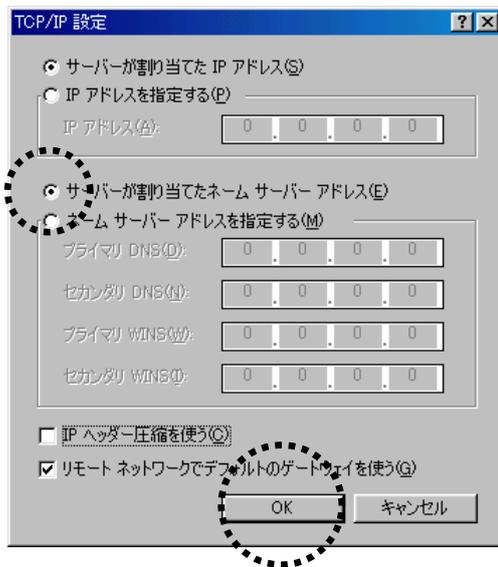
- サーバーの種類は「PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98」を、「詳細オプション」は「ソフトウェア圧縮をする」を、「使用できるネットワークプロトコル」は「TCP/IP」のみを選び、それ以外のチェックをはずして「TCP/IP 設定」をクリックします。



8. 「TCP/IP 設定」ウィンドウでは、「サーバーが割り当てたネームサーバーアドレス」を指定してください。

設定が完了したら、右下の「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウに、図のようなアイコン（例では接続）が表示されるまで「OK」を続けてクリックします。

このアイコンが表示されれば、設定は完了です。



以上で設定は完了です。

■インターネットに接続する

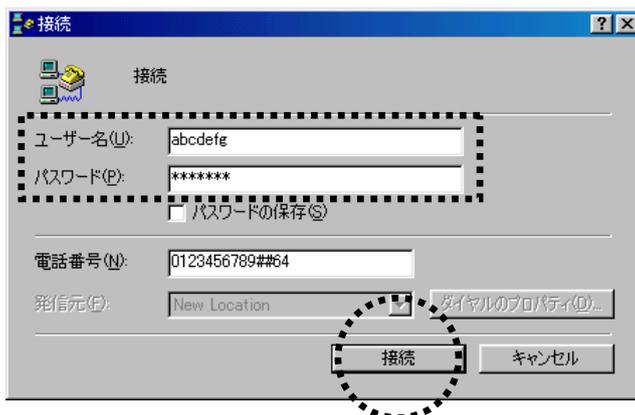
インターネットに実際に接続するには、本商品に同梱の以下の情報を手元に用意してください。

- ユーザー名(ユーザーID または接続 ID)
- パスワード

1. [83 ページ](#)で作成された「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウ内のアイコン（例では接続）をダブルクリックします。



2. 本商品に同梱のシートに記載の「ユーザー名(ユーザーID または接続 ID)」と「パスワード」を入力し、「接続」をクリックすると、接続が開始されます。



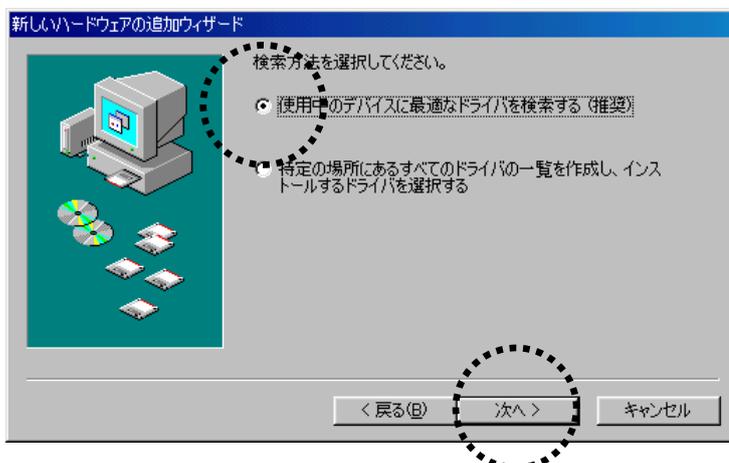
3. インターネットエクスプローラなどのブラウザソフトを起動してください。
4. 接続を終了するにはタスクトレイにあるダイヤルアップ接続中のアイコンをダブルクリックし「切断」をクリックします。

■CD-ROMドライブがPCカード接続タイプで本通信カードと同時に装着できない場合

1. コンピュータの電源を ON にし、Windows 98 を起動します。
2. CD-ROMドライブをコンピュータに接続します。
3. 商品に同梱の「セットアップディスク」を CD-ROMドライブにセットします。
4. CD-ROM内の「mdmsii12.inf」「mdmsii12.cat」の2つのファイルをコンピュータのデスクトップ上(画面上)にコピーします。
5. CD-ROMドライブをはずし、PCカードスロットにPCカードアダプタにセットした本通信カードを差し込みます。
6. 下記の画面が表示されたら「次へ」をクリックします。



7. 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選び、「次へ」をクリックします。



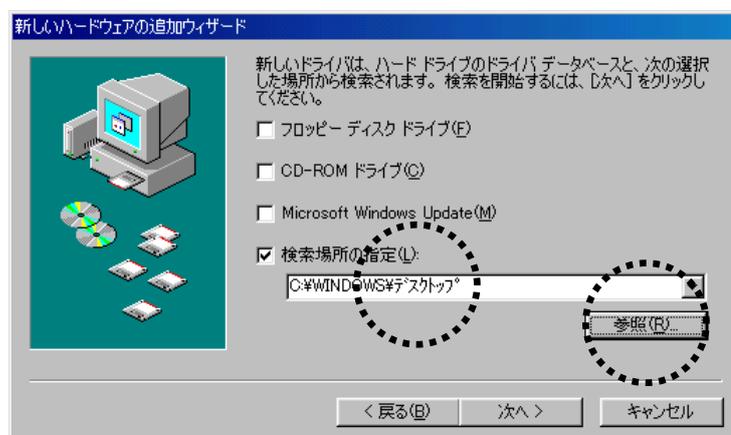
8. 「検索場所の指定」のみをチェックし、他のチェックをはずして「参照」をクリックします。



9. 「フォルダの参照」で「デスクトップ」を選び、「OK」をクリックします。



10. 「検索場所の指定」の下に「…¥デスクトップ」が表示されているのを確認したら、「次へ」をクリックします。



11. 「次のデバイス用のドライバファイルを検索します」の下に「SII BMS12C-J」が表示されているのを確認し、「次へ」をクリックします。
12. 「SII BMS12C-J」が表示されているのを確認したら、「完了」をクリックします。



以上でセットアップは完了です。

セットアップがうまくいかない場合 [🔗103 ページ](#)を参照してください。

はじめにデスクトップ上(画面上)にコピーした「mdmsii12.inf」「mdmsii12.cat」の2つのファイルはもう必要ありませんので削除してください。

[🔗79 ページ](#)の「接続先電話番号・接続に関する各種設定をする」を参照し、設定を行ってください。

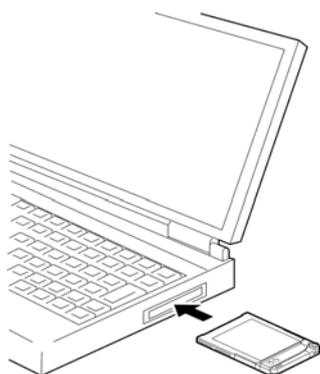
Mac OS 8.5～9.2.2 の場合

■通信カードをセットアップする

1. コンピュータの電源を ON にします。
2. コンピュータの CF カードスロットまたは PC カードスロットに本通信カードを差し込みます。

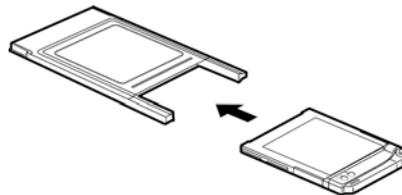
CF カードスロットに差し込む

本通信カードをカードスロットの挿入方向に注意して、奥までしっかり差し込んでください。



PC カードスロットに差し込む

- ① 通信カード本体のラベル面と PC カードアダプタのラベル面をそろえて、PC カードアダプタのガイド溝に合わせ、奥までしっかり差し込んでください。



- ② 通信カード本体をセットした PC カードアダプタを PC カードスロットの挿入方向に注意しながら奥までしっかり差し込んでください。



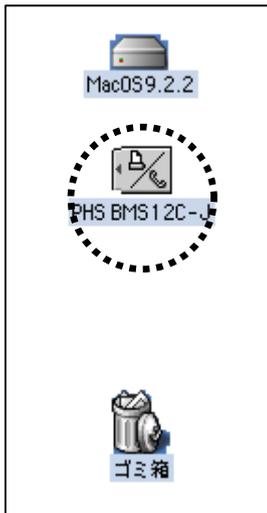
-
3. 商品に同梱の「セットアップディスク」を CD-ROM ドライブにセットし、「CCL」フォルダに入っている「SII_BMS12C-J」を「システムフォルダ」-「機能拡張」の中の「Modem Scripts」フォルダ内へコピーします。
 4. コンピュータを再起動します。

つづいて接続に関する設定を行います。

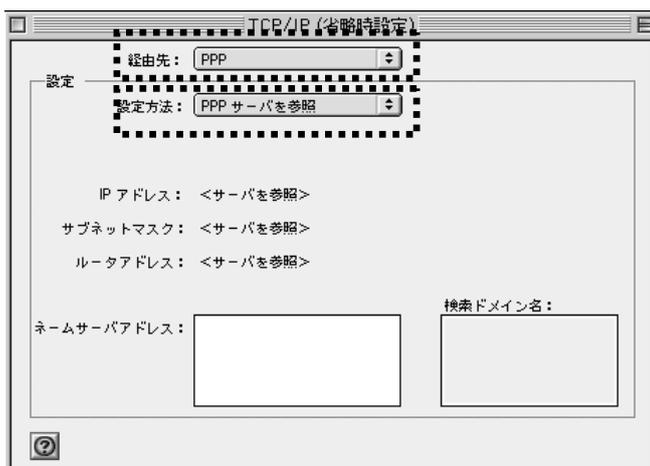
■接続先電話番号・接続に関する各種設定をする

ネットワークに接続するためには、「Open Transport/PPP」や「Apple Remote Access クライアント」などのソフトを使います。ここでは、「Open Transport/PPP」を使っての設定方法を説明します。「Open Transport/PPP」がインストールされていない場合は、コンピュータの取扱説明書をご覧になって、インストールしてください。

1. お使いのコンピュータに本通信カードを差し込んだ状態で、デスクトップ上に通信カードアイコンが表示されることを確認します。



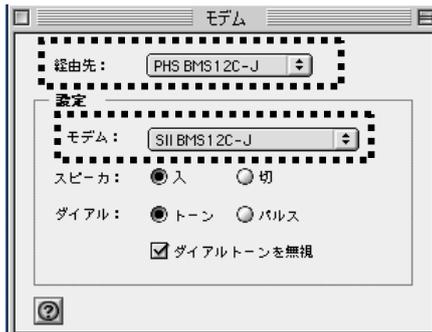
2. 「コントロールパネル」から「TCP/IP」を選び、「TCP/IP」の設定画面を表示させます。「経路先」を「PPP」に、「設定方法」を「PPP サーバを参照」に設定します。



-
3. 「コントロールパネル」から「モデム」を選び、「モデム」の設定画面を表示させます。
経路先を「PHS BMS12C-J」にします。「モデム」は、「SII BMS12C-J」を選んでください。
一覧に表示されない場合は、CCLファイルを誤ってコピーした可能性があります。
[89 ページ](#)「通信カードをセットアップする」の手順 3 を確認してください。



経路先は、場合によって「上（下）段PCカードスロット」と表示されることがあります。その場合は、通信カードを差し込んでいるスロットを指定してください。



■インターネットに接続する

インターネットに実際に接続するには、本商品に同梱の以下の情報を手元に用意してください。

- アクセスポイント(接続先電話番号)
- ユーザー名(ユーザーID または接続 ID) 、パスワード

1. 「コントロールパネル」から「リモートアクセス」を選び、「リモートアクセス」の設定画面を表示させ、本商品に同梱のシートに記載の「ユーザー名(ユーザーID または接続 ID)」と「パスワード」を入力します。次に「電話番号」の欄に「アクセスポイント(接続先電話番号)」と「## 番号」を入力します。

※ 接続先電話番号はお客様がご利用の商品によって異なります。
(上記画面の「0123456789##64」は入力例です。)

2. 「接続」をクリックします。

3. インターネットエクスプローラなどのブラウザソフトを起動してください。
4. 接続を終了するには、「リモートアクセス」の画面で「接続を切る」をクリックします。

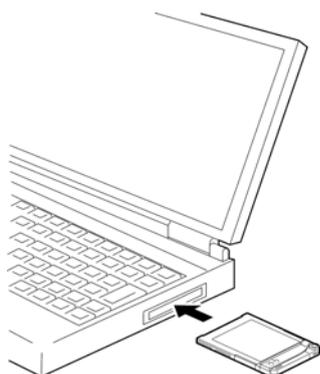
Mac OS X の場合

■通信カードをセットアップする

1. コンピュータの電源を ON にします。
2. コンピュータの CF カードスロットまたは PC カードスロットに本通信カードを差し込みます。

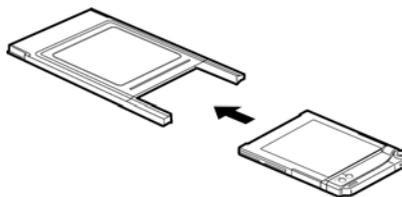
CF カードスロットに差し込む

本通信カードをカードスロットの挿入方向に注意して、奥までしっかり差し込んでください。



PC カードスロットに差し込む

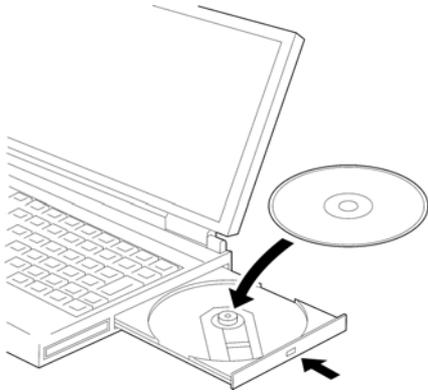
- ① 通信カード本体のラベル面と PC カードアダプタのラベル面をそろえて、PC カードアダプタのガイド溝に合わせ、奥までしっかり差し込んでください。



- ② 通信カード本体をセットした PC カードアダプタを PC カードスロットの挿入方向に注意しながら奥までしっかり差し込んでください。



-
3. 本商品に同梱の「セットアップディスク」を CD-ROM ドライブにセットし、「GCL」フォルダに入っている「SII_BMS12C-J」を起動ディスクのハードディスク内にある「ライブラリ」の中の「Modem Scripts」フォルダ内へコピーします。



4. コンピュータを再起動します。

つづいて接続に関する設定を行います。

■接続先電話番号・接続に関する各種設定をする

Mac OS 10.3.x の画面例で説明していますが Mac OS 10.2.x でも同様の手順で進めることができます。

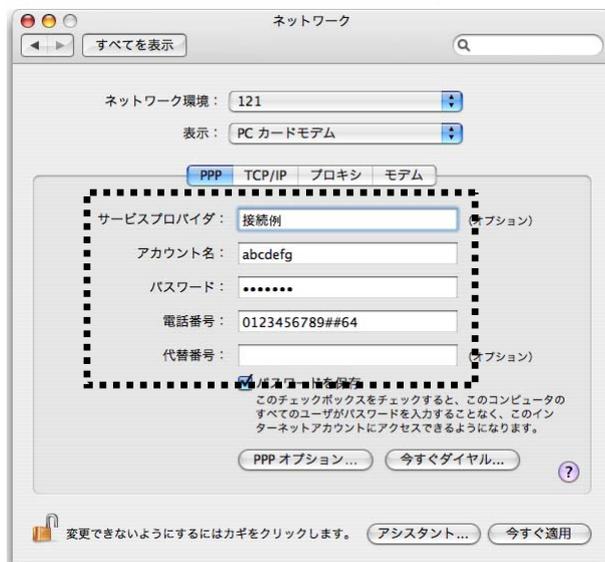
1. 「アップルメニュー」から「システム環境設定」を選びます。この中に表示される「ネットワーク」をクリックします。



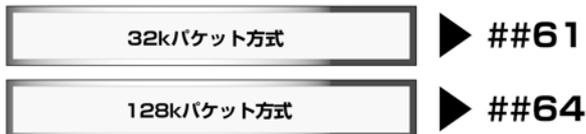
2. 「表示」は、「PC カードモデム」を選びます。



- [PPP]タブを選び、「サービスプロバイダ」に適当な名前(例: 接続例)、「アカウント名」に本商品に同梱のシートに記載の「ユーザー名(ユーザーID または接続 ID)」、「パスワード」、「電話番号」の欄に「アクセスポイント(接続先電話番号)」と「##番号」を入力します。

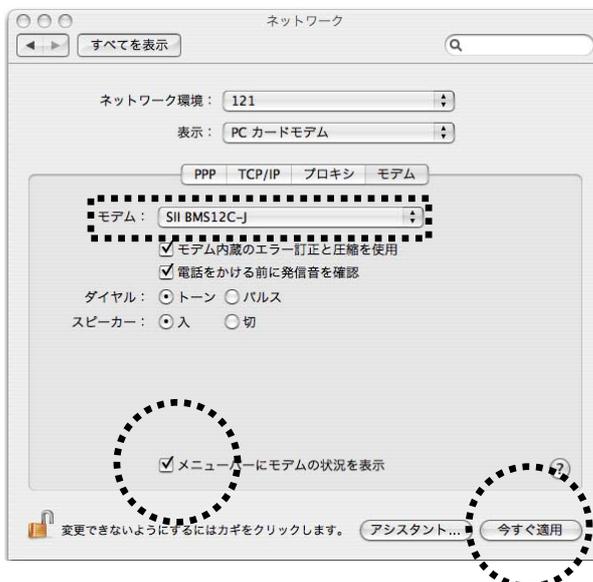


アクセスポイント(接続先電話番号) 接続先電話番号に続けて



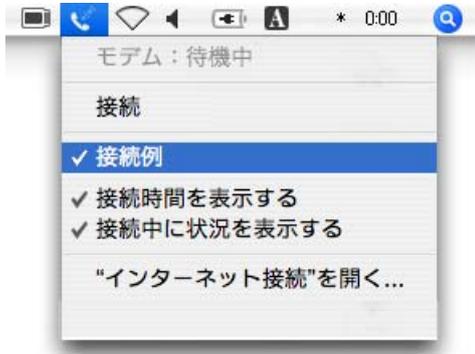
※ 接続先電話番号はお客様がご利用の商品によって異なります。
(上記画面の「0123456789##64」は入力例です。)

- [モデム]タブを選び、モデムに「SII_BMS12C-J」を選びます。「メニューバーにモデムの状況を表示する」にチェックを入れ、「今すぐ適用」をクリックし、「ネットワーク」ウィンドウを閉じます。



■インターネットに接続する

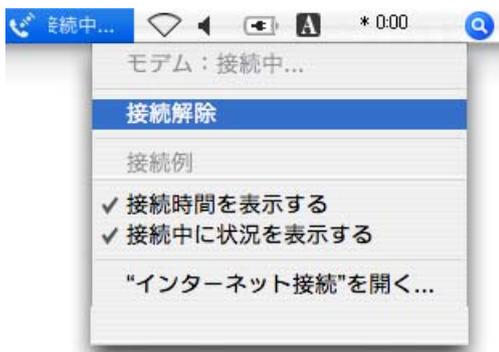
1. 画面右上に表示される受話器のアイコンをクリックし、「接続例」を選びます。



2. 受話器のアイコンをクリックし、「接続」を選ぶと、接続を開始します。



3. 切断する際は、受話器のアイコンをクリックし、「接続解除」を選びます。



困ったときに

本通信カードが動作しない場合の確認手順
確認してください
ヘルプデスク

本通信カードが動作しない場合の確認手順

ここでは、本通信カードが正常に動作しない場合に通信カードのセットアップが正しく行われているかなどを確認する手順を説明します。

ここに記載のない使用環境に関しては、当社ヘルプデスクにお問い合わせください。

■Windows Mobile 2003 / 2003SE・Pocket PC 2002 の場合

1. 本通信カードを差し込んだ状態で、画面上の「スタート」から「設定」を選択し、[接続]タブをタップします。

「接続」アイコンをタップします。

【Windows Mobile 2003 / 2003SE の場合】

[既存の接続を管理]をタップし、名前欄から接続名を選択して、「編集」をタップします。

【Pocket PC 2002 の場合】

「インターネットへ自動的に接続します」のプルダウンメニューが

「インターネット設定」になっていることを確認し、「変更」をタップします。[モデム]タブで「追加」をタップします。

「モデムの選択」でプルダウンメニューに「SII-PHS_BMS12C-J」が表示されていますか？

●「SII-PHS_BMS12C-J」が表示されていない

- ▶ 再度通信カードを差し込み直してください。それでも表示されない場合は、PDA に何か問題があるか通信カードが故障している可能性があります。当社ヘルプデスクまでご連絡ください。

●「SII-PHS_BMS12C-J」が表示されている

- ▶ 通信カードの認識は正常と思われます。各種設定に問題がある可能性がありますので「アクセスポイント(接続先電話番号)」や「アクセスポイントの通信方式」と「通信方式の設定」([18 ページ](#)、[26 ページ](#))が合っているかなど、設定に問題がないか再度ご確認ください。
- ▶ 設定に問題がないのに正常に動作しない場合には、当社ヘルプデスクまでご連絡ください。

■Windows XP の場合

1. 本通信カードを差し込んだ状態で、「スタート」-「コントロールパネル」を開きます。
カテゴリ表示の場合は「作業する分野を選びます」の「プリンタとその他のハードウェア」を開き、その中の「電話とモデムのオプション」を開きます。
クラシック表示の場合には、直接「コントロールパネル」の中にある「電話とモデムのオプション」を開きます。
次にウィンドウ上部の[モデム]タブを開いてください。
「次のモデムがインストールされています」の下に「SII BMS12C-J」が表示されていますか？

●表示されていない

- ▶ BMS12C-J 以外の通信カードを使用していないのに「標準 PCMCIA カードモデム」と表示されている場合は、「セットアップディスク」を使用せずにセットアップを行ったか、「セットアップディスク」がうまく読み込めていない可能性があります。

通信カードを取り外した状態で[電話とモデムのオプション]の[モデム]タブの中に表示されている「標準 PCMCIA カードモデム」を選んで削除し再度はじめからセットアップを行ってください。

- ▶ 「SII BMS12C-J」または「標準PCMCIAカードモデム」のどちらも表示されていない場合は、セットアップが正常に行われていない可能性があります。

通信カードをいったん取り外してから再度差し込み、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されるか確認してください。表示される場合は [34 ページ](#) の手順に従い、再度セットアップを行ってください。

「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合は、コンピュータに何か問題があるか通信カードが故障している可能性があります。

当社ヘルプデスクまでご連絡ください。

●表示されている

- ▶ 手順 2 へ

-
2. 次に「SII BMS12C-J」を選択して、「プロパティ」をクリックします。
[診断]タブを開き、「モデムの照会」をクリックします。[コマンド | 応答]の下のウィンドウ内をスクロールしていくと、「ATI3 Seiko Instruments Inc.」「ATI4 BMS12C-J」「ATI5 Version.***」などが表示されていますか？

●表示されない

- ▶ エラーメッセージが表示されて[コマンド | 応答]の下のウィンドウ内に本通信カードに関する情報が表示されない場合は、通信カードの認識が正常に行われていない可能性があります。

当社ヘルプデスクまでご連絡ください。

●表示された

- ▶ 通信カードのセットアップ(認識)は正常と思われます。

いったん「SII BMS12C-J」のプロパティを閉じてください。次に通信カードで通信ができる状態かどうか確認します。

手順 3 へ

3. [116 ページ](#)の「ハイパーターミナルの起動手順」を参照し「ハイパーターミナル」を起動します。入力フィールドに「atz」(文字は表示されません)と入力し、「Enter」キーを押してください。「OK」と表示されたら「ati4」と入力し、「Enter」キーを押してください。

●「BMS12C-J OK」が表示されない

- ▶ 再度「ati4」と入力してみてください。もし入力できないときは、念のためにハイパーターミナルを起動し直して、再度手順 3 をお試しください。

それでも「ati4」が入力できなかったり、入力後応答がない場合には、当社ヘルプデスクまでご連絡ください。

●「BMS12C-J OK」以外の文字が表示された

- ▶ 「ハイパーターミナルの起動手順」([116 ページ](#))の手順 2 の「接続方法」で「SII BMS 12C-J」以外の別のモデムを選んだ可能性があります。

ハイパーターミナルを起動し直して、再度お試しください。

●「BMS12C-J OK」と表示された

- ▶ 手順 4 へ

4. 「atd アクセスポイント(接続先電話番号)##番号」と入力して「Enter」キーを押してください。

 **注意** 「##番号」は通信方式にあった番号を入力してください。詳細は [15 ページ](#) をご覧ください。

●「NO CARRIER」と表示された

- ▶ 再度「atd アクセスポイント(接続先電話番号)##番号」と入力し「Enter」キーを押してください。また電波の受信状況に問題がないかどうかご確認ください。電波の受信状況に問題がない場合には、通信カードが故障しているか、コンピュータに何か問題がある可能性があります。

 **注意** アクセスポイントの混雑なども考えられますので、数回行ってみてください。

●「CONNECT xxxx」と表示された

- ▶ 通信カードのセットアップ(認識)に問題はなく、通信可能な状態です。
メニューバーの「ファイル」-「ハイパーターミナルの終了」をクリックして切断し、ハイパーターミナルを終了してください。

各種設定に問題がある可能性がありますので、「アクセスポイント(接続先電話番号)」や「アクセスポイントの通信方式」と「通信方式の設定」([38 ページ](#))が合っているかなど、設定に問題がないか再度ご確認ください。

■Windows 98 / 98SE / Me の場合

1. 本通信カードを差し込んだ状態で、「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を開き、「コントロールパネル」の中の「モデム」をダブルクリックして開いてください。
「次のモデムがセットアップされています」の下に「SII BMS12C-J」が表示されていますか?

●表示されていない

- ▶ BMS12C-J以外の通信カードを使用していないのに「標準PCMCIAカードモデム」と表示されている場合は、[112 ページ](#)をご覧ください、「標準PCMCIAカードモデム」を削除してから再度本通信カードのセットアップを行ってください。

(検索場所を選ぶ画面で、CD-ROMドライブ以外のチェックボックスにチェックがついていた可能性があります。お使いの「セットアップディスク」のドライブのみを指定して通信カードの認識を行ってください。)

- ▶ 「SII BMS12C-J」または「標準 PCMCIA カードモデム」のどちらも表示されていない場合は、セットアップが正常に行われていない可能性があります。

通信カードをいったん取り外してから再度差し込み、「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されるか確認してください。表示される場合は本書の手順に従い、再度セットアップを行ってください。

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合は、コンピュータに何か問題があるか本通信カードが故障している可能性があります。

当社ヘルプデスクまでご連絡ください。

※ただし、Windows Meの場合は以下についてまずご確認ください。

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合は、「その他のデバイス」として誤って認識されている可能性があります。[112 ページ](#)をご覧ください「その他のデバイス」を削除してから再度セットアップを行ってください。

●表示されている

- ▶ 手順 2 へ

-
2. 次にウィンドウ上部の[検出結果]タブをクリックし、「SII BMS12C-J」の左側に表示されている「COM 番号」の部分を選択して、「詳細(情報)」をクリックしてください。
しばらくすると[コマンド | 応答]の下のウィンドウの中に、「Seiko Instruments Inc.」「BMS 12C-J」「Version.***」などが表示されますか?

●表示されない

- ▶ 「モデムが応答しません」「ポートを開けません」「ポートはすでに開かれています」などのエラーメッセージが表示される場合は、リソースの競合などが起きているか、本通信カードの認識が正常に行われていない可能性があります。当社ヘルプデスクまでご連絡ください。

●表示された

- ▶ 通信カードのセットアップ(認識)は正常と思われます。いったん「モデムのプロパティ」を閉じてください。次に通信カードで通信ができる状態かどうか確認します。

手順 3 へ

3. [116 ページ](#)の「ハイパーターミナルの起動手順」を参照し「ハイパーターミナル」を起動します。入力フィールドに「atz」(文字は表示されません)と入力し、「Enter」キーを押してください。「OK」と表示されたら「ati4」と入力し、「Enter」キーを押してください。

●文字が入力できない または「BMS12C-J OK」が表示されない

- ▶ コンピュータの設定によっては、文字が表示されないだけの場合があります。「atz」(文字は表示されません)と入力してそのまま「Enter」キーを押し、再度「ati4」と入力してみてください。もし入力できないときは、念のために、ハイパーターミナルを起動し直して、再度手順 3 をお試しください。それでも「ati4」が入力できなかったり、入力後応答がない場合には、当社ヘルプデスクまでご連絡ください。

●「BMS12C-J OK」以外の文字が表示された

- ▶ 「ハイパーターミナルの起動手順」([116 ページ](#))の手順 2 の「接続方法」のところで「SII BMS12C-J」以外の別のモデムを選んだ可能性があります。ハイパーターミナルを起動し直して再度お試しください。

●「BMS12C-J OK」と表示された

- ▶ 手順 4 へ

4. 「atd アクセスポイント(接続先電話番号)##番号」と入力して、「Enter」キーを押してください。

 **注意** 「##番号」は通信方式にあった番号を入力してください。詳細は [15 ページ](#) をご覧ください。

●「NO CARRIER」と表示された

- ▶ 再度「atd アクセスポイント(接続先電話番号)##番号」と入力し、「Enter」キーを押してください。また、電波の受信状況に問題がないかどうかご確認ください。電波の受信状況に問題がない場合には、通信カードが故障しているか、コンピュータに何か問題がある可能性があります。

 **注意** アクセスポイントの混雑なども考えられますので、数回行ってみてください。

●「CONNECT xxxx」と表示された

- ▶ 通信カードのセットアップ(認識)に問題はなく、通信可能な状態です。
メニューバーの「ファイル」-「ハイパーターミナルの終了」をクリックして切断し、ハイパーターミナルを終了してください。

各種設定に問題がある可能性がありますので、「アクセスポイント(接続先電話番号)」や「アクセスポイントの通信方式」と「通信方式の設定」([79 ページ](#))が合っているかなど、設定に問題がないか再度ご確認ください。

■Windows 2000 の場合

1. 本通信カードを差し込んだ状態で、「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を開き、「コントロールパネル」の中の「電話とモデムのオプション」をダブルクリックして開いてください。次にウィンドウ上部の[モデム]タブを開いてください。
「次のモデムがセットアップされています」の下に「SII BMS12C-J」が表示されていますか？

●表示されていない

- ▶ BMS12C-J以外の通信カードを使用していないのに「標準PCMCIAカードモデム」と表示されている場合は、セットアップが途中の状態の可能性があります。

[58 ページ](#)のセットアップ手順を参照し、手順 1 からセットアップを行ってください。

- ▶ 「SII BMS12C-J」または「標準PCMCIAカードモデム」のどちらも表示されていない場合は、セットアップが正常に行われていない可能性があります。

通信カードをいったん取り外して再度差し込み、「新しいハードウェアが見つかりました」という画面が表示されるか確認してください。表示される場合は [60 ページ](#)の手順 4 から再度セットアップを行ってください。

「新しいハードウェアが見つかりました」という画面が表示されない場合は、コンピュータに何か問題があるか本通信カードが故障している可能性があります。

当社ヘルプデスクまでご連絡ください。

●表示されている

- ▶ 手順 2 へ

2. 次に「SII BMS12C-J」を選択して、「プロパティ」をクリックします。
[診断]タブを開き、「モデムの照会」をクリックします。[コマンド | 応答]の下のウィンドウの中をスクロールしていくと、「ATI3 Seiko Instruments Inc.」「ATI4 BMS12C-J」「ATI5 Version. ***」などが表示されていますか？

●表示されない

- ▶ エラーメッセージが表示されて[コマンド | 応答]の下のウィンドウの中に本通信カードに関する情報が表示されない場合は、通信カードの認識が正常に行われていない可能性があります。

当社ヘルプデスクまでご連絡ください。

●表示された

- ▶ 通信カードのセットアップ(認識)は正常と思われます。いったん「SII BMS12C-J」のプロパティを閉じてください。

次に通信カードで通信ができる状態かどうか確認します。

手順 3 へ

-
3. [116 ページ](#)の「ハイパーターミナルの起動手順」を参照し「ハイパーターミナル」を起動します。入力フィールドに「atz」と入力し、「Enter」キーを押してください。「OK」と表示されたら「ati4」と入力し、「Enter」キーを押してください。

●「BMS12C-J OK」が表示されない

- ▶ 再度「ati4」と入力してみてください。もし入力できないときは、念のためにハイパーターミナルを起動し直して、再度手順3をお試しください。それでも「ati4」が入力できなかったり、入力後応答がない場合には、当社ヘルプデスクまでご連絡ください。

●「BMS12C-J OK 以外の文字が表示された

- ▶「ハイパーターミナルの起動手順」([116 ページ](#))の手順2の「接続方法」で「SII BMS 12C-J」以外の別のモデムを選んだ可能性があります。ハイパーターミナルを起動し直して、再度お試しください。

●「BMS12C-J OK」と表示された

- ▶ 手順4へ

4. 「atd アクセスポイント(接続先電話番号)##番号」と入力して「Enter」キーを押してください。

 **注意**

「##番号」は通信方式にあった番号を入力してください。詳細は [15 ページ](#)をご覧ください。

●「NO CARRIER」と表示された

- ▶ 再度「atd アクセスポイント(接続先電話番号)##番号」と入力し「Enter」キーを押してください。

また電波の受信状況に問題がないかどうかご確認ください。

電波の受信状況に問題がない場合には、通信カードが故障しているか、コンピュータに何か問題がある可能性があります。

 **注意**

アクセスポイントの混雑なども考えられますので、数回行ってみてください。

●「CONNECT xxxx」と表示された

- ▶ 通信カードのセットアップ(認識)に問題はなく、通信可能な状態です。

メニューバーの「ファイル」-「ハイパーターミナルの終了」をクリックして切断し、ハイパーターミナルを終了してください。

各種設定に問題がある可能性がありますので、「アクセスポイント(接続先電話番号)」や「アクセスポイントの通信方式」と「通信方式の設定」([64 ページ](#))が合っているかなど、設定に問題がないか再度ご確認ください。

■Mac OS 8.5～9.2.2 の場合

1. 本通信カードを差し込んだ状態で、画面上に「PHS BMS12C-J」の通信カードアイコンが表示されていますか？

●「PHS BMS12C-J」の通信カードアイコンが表示されていない

- ▶ 再度通信カードを差し込み直してください。

またお使いの OS のバージョンが本通信カードの対応 OS になっているかご確認ください。

それでも通信カードアイコンが表示されない場合は、コンピュータに何か問題があるか通信カードが故障している可能性があります。

当社ヘルプデスクまでご連絡ください。

●「PHS BMS12C-J」の通信カードアイコンが表示されている

- ▶ 手順 2 へ

2. 次に「コントロールパネル」から「TCP/IP」を選択し、経路先に「PPP」が選ばれているか確認してください。

いったん、「TCP/IP」の画面を閉じ、「コントロールパネル」から「モデム」を選択し、モデム設定画面を表示させます。

「経路先」に「PHS BMS12C-J」が、「設定」の「モデム」に「SII BMS12C-J」が選択されていますか？

●「経路先」に「PHS BMS12C-J」が選択できない

- ▶ 経路先は、お使いの環境によっては「上段(または下段)PC カードスロット」と表示される場合があります。

その場合、通信カードを差し込んでいるスロットを指定してください。「PHS BMS12C-J」または「上段(下段)PC カードスロット」のどちらも選択できない場合は通信カードの認識が正常に行われていない可能性があります。

当社ヘルプデスクまでご連絡ください。

●「設定」の「モデム」一覧の中に「SII BMS12C-J」が表示されていない

- ▶ CCLファイルが正しくコピーされていない可能性があります。[89ページ](#)の手順3に従ってCCLファイルを正しくコピーしてください。

●「経路先」に「PHS BMS12C-J」が、「設定」の「モデム」に「SII BMS12C-J」が選択されている

- ▶ 通信カードのセットアップ(認識)は正常と思われます。

いったん、モデム設定画面を閉じてください。

次に通信カードで通信ができる状態かどうか確認します。

手順 3 へ

-
3. 「コントロールパネル」から「リモートアクセス」を選択し、「リモートアクセス」設定画面を表示させます。
「名前」の欄に「ユーザー名(ユーザーID または接続 ID)」、「パスワード」の欄に「パスワード」、「電話番号」の欄に「アクセスポイント(接続先電話番号)##番号」と入力し、「接続」をクリックしてください。



「##番号」は通信方式にあった番号を入力してください。詳細は 15 ページをご覧ください。

- 「搬送波信号が検出されませんでした」と表示され接続できない
 - ▶ 接続先電話番号が正しく入力されているか、再度ご確認ください。
また電波の受信状況に問題がないかどうかご確認ください。
接続先電話番号の間違いや、電波の受信状況に問題がない場合には、通信カードが故障しているか、コンピュータに何か問題がある可能性があります。



アクセスポイントの混雑なども考えられますので、数回行ってみてください。

- 接続され「接続速度」、「接続時間」などが表示された
 - ▶ 通信カードのセットアップ(認識)に問題はなく、通信可能な状態です。
「接続を切る」をクリックして通信を切断してください。

■Mac OS X の場合

1. 本通信カードを差し込んだ状態で、画面右上のメニューバーにある通信カードアイコンが表示されていますか？

(通信カードアイコンをクリックすると「カード電源 切」が表示されています。)

●通信カードアイコンが表示されていない

- ▶ 再度通信カードを差し込み直してください。

またお使いの OS のバージョンが本通信カードの対応 OS になっているかご確認ください。

それでも通信カードアイコンが表示されない場合は、コンピュータに何か問題があるか通信カードが故障している可能性があります。

当社ヘルプデスクまでご連絡ください。

●通信カードアイコンが表示されている

- ▶ 手順 2 へ

2. 次にアップルメニューの「システム環境設定」を選択し、「システム環境設定」の中にある「ネットワーク」のアイコンをクリックします。

「表示」に「PC カードモデム」が表示されていますか？

●「表示」に「PC カードモデム」が選択できない

- ▶ 通信カードのセットアップが正常に行われていない可能性があります。

当社ヘルプデスクまでご連絡ください。

●「表示」に「PC カードモデム」が選択されている

- ▶ 手順 3 へ

3. [TCP/IP]タブで「設定」に「PPP を使用」を選択します。
また[PPP]タブで「サービスプロバイダ」「[アカウント名]」「パスワード」「電話番号」(アクセスポイント(接続先電話番号)のあとに##番号)のそれぞれの欄に正しく入力されているか確認します。
また[モデム]タブにある「モデム」に「SII BMS12C-J」が選択されていますか？

- [モデム]タブで「モデム」一覧の中に「SII BMS12C-J」が表示されていない
 - ▶ GCLファイルが正しくコピーされていない可能性があります。[94ページ](#)の手順3にしたがってGCLファイルを正しくコピーしてください。
- [モデム]タブで「モデム」一覧の中に「SII BMS12C-J」が表示されている
 - ▶ どこか設定内容を訂正した場合は、「今すぐ適用」をクリックし、ウィンドウを閉じてください。(訂正がない場合にはそのままウィンドウを閉じてください。)
次に通信カードで通信ができる状態かどうか確認します

4. ハードディスクアイコンにある「アプリケーション」フォルダの中の「インターネット接続」をダブルクリックして起動します。
「電話番号」欄で、「・・・主電話番号」を選び、「接続」をクリックしてください。

- 「キャリア(搬送波)を検出できませんでした。・・・」と表示され接続できない
 - ▶ 接続先電話番号が正しく入力されているか、再度ご確認ください。
また電波の受信状況に問題がないかどうかご確認ください。
 - ▶ 接続先電話番号の間違いや、電波の受信状況に問題がない場合には、通信カードが故障しているか、コンピュータに何か問題がある可能性があります。

 **注意** アクセスポイントの混雑なども考えられますので、数回行ってみてください。

- 接続され「ステータス」、「接続時間」などが表示された
 - ▶ 通信カードのセットアップ(認識)に問題はなく、通信可能な状態です。
 - ▶ 接続され「ステータス」、「接続時間」などが表示された「接続解除」をクリックして通信を切断してください。
 - ▶ 接続され「ステータス」、「接続時間」などが表示された「PC カードモデム」を閉じ、終了します。

確認してください

本通信カードが正常に動作しない場合は、以下の項目についても確認してください。

確認しても動作しない場合は、当社ヘルプデスクまでお問い合わせください。

症状	確認事項
通信できない（発信できない） 電話をかけ始めるとすぐ切れてしまう	<ul style="list-style-type: none">● 通信方式の設定（##番号の設定）が正しく行われていない可能性があります。通信方式の設定について 15 ページをご参照の上、ご確認ください。● 自動再発信規制中の可能性があります。最初の発信から 3 分以内に行うことができる再発信は 2 回までです。しばらくしてから、再度発信してみてください。● お近くの基地局で使える回線がすべて他の人に使用されていると利用できない場合があります。しばらくしてから、再度発信してみてください。
通信速度が遅く感じる	<ul style="list-style-type: none">● 通信方式の設定（##番号の設定）が正しくない可能性があります。 15 ページおよび各OSの「接続先電話番号」の入力方法をご確認ください。● 電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。● コンピュータと本通信カードとの通信速度設定が低い場合があります。特に Windows でダイヤルアップ接続を利用している場合は、「ダイヤルアップネットワーク」の設定の中で本通信カードとの通信速度をご使用のコンピュータの上限速度に設定してください。「コントロールパネル」からの通信速度設定は無効になりますのでご注意ください。
アクセスポイントに接続できない	<ul style="list-style-type: none">● 接続しようとしているアクセスポイントが対応していない可能性があります。ご確認ください。
誤って標準 PCMCIA カードモデムで認識させてしまった (Windows 98)	<ul style="list-style-type: none">● 本通信カードを取り外した状態で「コントロールパネル」-「モデム」を開いて「モデムのプロパティ」の中の「標準 PCMCIA カードモデム」を選んで削除してから再度セットアップを行ってください。
その他のデバイスとして認識されてしまった (Windows Me)	<ul style="list-style-type: none">● 本通信カードを差し込んだ状態で、「コントロールパネル」-「システム」-[デバイスマネージャ]タブを開き、一覧表示される機器の「その他のデバイス」の中に「!」または「?」のついた「SII BMS12C-J」が表示されていないか確認してください。もし表示されている場合には、「SII BMS12C-J」を選択し、「削除」をクリックしていったん削除し、通信カードを取り外して再度セットアップを行ってください。
本通信カードを差し込んでもコンピュータが全く反応しない	<ul style="list-style-type: none">● 本通信カードが正しく接続されていない可能性があります。通信カードをもう一度、奥までしっかりと差し込んでください。● PCのドライバが正常に機能していない可能性があります。 99 ページ以降の手順に従って、各項目を確認してください。● 省エネタイプのコンピュータでは本通信カードへの電源を OFF にしているものがあります。コンピュータの取扱説明書に従い、電源の状態を確認してください。

症状	確認事項
本通信カードをコンピュータに認識させたのに通信ソフトから使えない	<ul style="list-style-type: none"> ● 99 ページ以降の手順に従って各項目を確認してください。
データ通信時、相手につながるとすぐ切れてしまう	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信条件の設定が通信相手と合っていない場合があります。通信方式の種類・接続先電話番号・ユーザー名(ユーザーID または接続ID)・パスワードなどを確認してください。
通信が安定しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。本通信カードのアンテナランプが安定して点灯していることを確認してください。 ● アンテナランプが点滅している場合は、電波の届きにくい場所である可能性があります。アンテナランプが安定して点灯する場所に移動してください。
OS の通信ソフトがうまく動かない	<ul style="list-style-type: none"> ● 途中まで動作する場合、あるいは一部の機能は動作するが、全体としてうまく動作しない場合、通信ソフトの設定が不適切な可能性があります。通信ソフトの設定内容を確認してください。 ● コンピュータの電源をいったん OFF にし、本書に従って、再度本通信カードを接続してください。 ● コンピュータの電池を確認してください。電池が少なくなると、動作が不安定になることがあります。電池の残量が少ない場合は、新しい電池に交換するか、コンピュータに付属の AC アダプタを使って動かしてみてください。
通信をしていないのに電力を消耗する	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信していなくても電力を消耗します。通信をしていない時は本通信カードをコンピュータから取り外してください。
付近のテレビやラジオなどに雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> ● 本通信カードは電子機器ですので、若干ながらノイズが発生します。これは法令でも許容されているごく微弱な量ですが、近くに置かれたテレビやラジオに影響を与えることもあります。テレビやラジオからコンピュータ、および本通信カードを離すようにしてください。

ヘルプデスク

本通信カードに関するお問い合わせは、下記のヘルプデスクまでご連絡ください。

日本通信株式会社

bモバイル・ヘルプデスク

受付時間 : 9:00～18:00 月曜～金曜(祝日・当社休業日を除く)

電話番号 : 03-5767-9111

Eメール : helpdesk@j-com.co.jp

ホームページ : <http://www.bmobile.ne.jp/>

<個人情報保護について>

弊社がbモバイル・ヘルプデスクで取得いたしましたお客様の個人情報につきましては、弊社のbモバイルの提供に伴う利用契約者の本人確認、お客様との情報交換、商品のサポート、メンテナンス情報の通知、アフターサービスや諸特典に関する情報提供、弊社商品ラインナップおよびキャンペーン商品の案内、サービス品質向上のための利用者調査、弊社商品およびサービスの市場調査、商品開発・改善のための調査に使用することがあります。

個人情報の開示・訂正・削除の依頼、その他のご相談やお問い合わせは弊社個人情報に関するお問い合わせ窓口までご連絡願います。

<個人情報相談窓口>

個人情報に関するご質問・ご相談は、下記窓口にて受け付けております。

Eメール : privacy@j-com.co.jp

電話番号 : 03-5767-9150

付 録

コマンドについて
発着信の動作制限について
通信カードに関する電話番号の確認方法
用語集
仕 様

コマンドについて

本通信カードでは、コンピュータから通信カードを制御するためのいくつかのコマンドをサポートしています。このコマンドを使うことによって、各種設定や通信カードの制御を行うことができます。

■ハイパーターミナルの起動手順

ここでは、ATコマンドを入力して通信カードを動作させる方法の例として、Windows に付属の「ハイパーターミナル」という通信プログラムを起動する方法を説明します。

1. 「スタート」-「プログラム (Windows XP の場合は「すべてのプログラム」)」-「アクセサリ」-「通信」-「ハイパーターミナル」の順に開いていきます。

「ハイパーターミナル」ウィンドウが開きます。

ハイパーターミナルがインストールされていない場合は、コンピュータの説明書などを参照のうえインストールするか、コンピュータメーカーのサポート窓口までお問い合わせください。

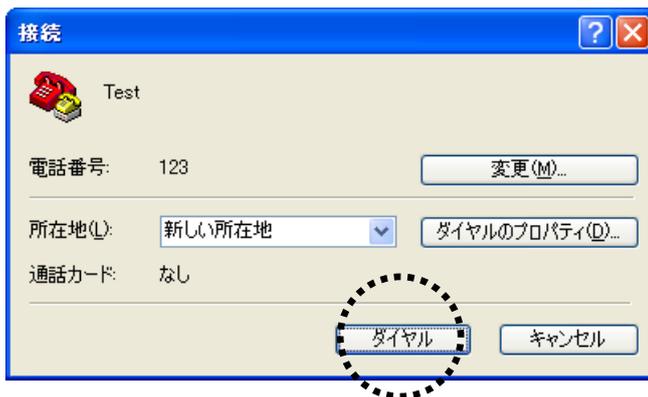
「新しい接続」ウィンドウ内の「名前」に適当な名前（例: test など）を入力し、「OK」をクリックします。



2. 「電話番号」に適切な番号(例:123 など)を入力し、「接続方法」に「SII BMS12C-J」を指定して「OK」をクリックしてください。



3. 「接続」ウィンドウで、「キャンセル」をクリックしてください。



4. 「ハイパーターミナル」が起動し、コマンドが入力できる画面が表示されたら、準備は完了です。

■ATコマンドを使った通信方式の設定について

本通信カードで通信するには、アクセスポイントの通信方式に合わせて通信方式の設定を行う必要がありますが、「接続先電話番号に続けて##番号を入力する」方法以外に、ATコマンドを使って通信方式の設定を行うこともできます。

アクセスポイント(接続先電話番号) ATコマンド

32kパケット方式	▶ AT@061
128kパケット	▶ AT@064

・**○** はアルファベットのオーです。

注意
・「接続先電話番号に続けて##番号を入力する設定」と「AT コマンドを使った設定」を両方行った場合には、「接続先電話番号に続けて##番号を入力する設定」が優先されます。

発着信の動作制限について

各通信方式と本通信カードの組み合わせによる発着信の制限は次のとおりです。

【通信方式】	【発信/着信】	【説明】
32k パケット	発信 ○ 着信 ×	32kbps パケット専用アクセスポイントに接続する場合に使用します。
128k パケット	発信 ○ 着信 ×	128kbps パケット専用アクセスポイントに接続する場合に使用します。

通信カードに関する電話番号の確認方法

本通信カードの回線開設時に割り当てられる本通信カード自体の電話番号(自局電番)を確認できます。

●AT コマンドを使って確認する

1. [116 ページ](#)に記載の「■ハイパーターミナルの起動手順」を参照し、ATコマンドが入力できる状態にします。
2. 「ati4」と入力して「Enter」キーを押し「BMS12C-J OK」と表示されるのを確認します。(Windows 2000、XP の場合には「atz」と入力し「Enter」キーを押してから上記手順を行ってください。)
3. 「ati6」と入力して「Enter」キーを押します。ここで表示された番号が本通信カード自体の電話番号(自局電番)です。

用語集

本通信カードを使って、初めてデータ通信やインターネットをご利用される方のために、専門用語を簡単にわかりやすく説明いたします。

CF カード

Compact Flash カードの略で通信機能やメモリ機能を持った小型のカード。厚さにより Type I と Type II がある。

OS

オペレーティング・システムの略でコンピュータを動かすための基本的なソフト。代表的な OS には Windows や Macintosh などがある。

インストール

ソフトウェアをコンピュータ上で使用できるようにコンピュータの中に入れる作業のこと。

プラグアンドプレイ

本通信カードのような周辺機器をコンピュータに接続すると、OS が自動的に機器を検出して最適な設定を行う仕組みのこと。

inf ファイル(モデム情報ファイル)

Information ファイルの略で本通信カード特有の情報が記述してあるファイル。インストール作業のときに必要になる。

cat ファイル

マイクロソフトから与えられた認証ファイル。マイクロソフトの認定製品であることを証明するもの。

CCL ファイル

Mac OS の通信ソフトを使用するときに必要な、本通信カード特有の情報が記述してあるファイル。

プロバイダ

インターネットへの接続サービスを提供する会社(業者)。

アクセスポイント

プロバイダが提供するインターネットにアクセスするための入り口のこと、接続先の電話番号を指す。

ダイヤルアップ接続

コンピュータから電話回線を使用して、アクセスポイントに電話をかけ、インターネットに接続すること。

bps

bit per second の略で、1 秒間に何ビットの情報が送れるかということ。数字が大きいほど通信速度は速い。

ブラウザソフト

ホームページを見るために必要なソフトウェアで、代表的なブラウザソフトにはインターネットエクスプローラやネットスケープナビゲーターなどがある。

発信、着信

発信とはこちらから電話をかけることをいい、着信とはかかってきた電話を受けることをいう。データを送信する、受信するとは意味が異なる。

パケット方式

情報をパケット(小包)に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式のこと。

ハイパーターミナル

Windows に搭載されている通信ソフト。AT コマンドを使って本通信カードの設定や動作を行うことができる。

AT コマンド

モデムの制御などに使われる命令のこと。米国 Hayes 社が開発したものが一般的に使われるようになった。

仕様

型名	BMS12C-J	
形状	Compact Flash Type I Extended 準拠 PCMCIA Type II Extended 準拠	
アンテナ	可動式アンテナ(非脱着式)	
外形寸法	CF カード本体	約 42.8mm × 約 55.0mm × 約 3.3mm (一部 5.6mm) (PC カードアダプタ含まず)
質量	CF カード本体	約 14g(本体)
	PC カードアダプタ使用時	約 37g
使用電源	DC 5.0V / 3.3V(CF スロットまたは、PC カードスロットより供給)	
平均消費電流	約 170mA(128kbps パケット通信時) 約 85mA(32kbps パケット通信時) 約 3.2mA(待ち受け時/LED 消灯)	
環境条件	動作温度範囲: 5~40℃ 動作湿度範囲: 30~85%(結露しないこと)	
制御コマンド	ヘイズ AT コマンド準拠	
通信速度	パケット方式	32kbps
		128kbps

技術基準適合認定番号: A03-0471JP
J03-0071

ManualVersion -060201